首相は関公訪

保護に努めた、今やこの政治の である、為政者は先づ職業を央 である、為政者は先づ職業を央 へればならぬ疾病に關する國家 治療機關の必要もある、法る語 會の始め自分が を必要する、自分はだから選挙 法の改正が先きだ、百弊の原 要法の改正が先きだ、百弊の原 要法の改正を行なび被選舉人は全 法の改正を行なび被選舉人は全

ではこれでは、 責任さ云ふ事になれる。 のみならず自分にもさ

ジュネ

ヴ軍縮

か

6

(日曜火)

後等時半電歌に職監支那調査委員 東京七日教 荒木陰樹は七日午

陸相招待午餐

和

圓卓會議停頓狀態

ム閣議で對策を協議

『北平七日教』洛陽の中央政治會

李宗は、競學良、陳燕棠、陳鎔福

等を同食委員に住命した

七日漢口

鹽澤司令官 へ向ふ

司令長官は十日旗艦安宅に塔、上海七日番」勝澤第一選外

支那軍士たも挑戦

さ支那人は聞北江港が日本軍の為りは観映響されたに黙し之が復讐として北四川路施高松路が酸の日本人居任地區に放火し之を煙場。

計畫を進めつと

商標展覽會で

が発音版々しさを呈してるたい質者が行はれ龍口市中は肌の

◇ 戦争怪奇小說集

開幕高

公井 調苦

。戦地は海娘子軍

出

排日貨の宣傳

佛租界で毆打 日清汽船員を

【南京七山餐】市立蝴業指導

支那致科書

○○のわが前哨部隊に對して

我軍隱忍して對峙中

2空軍の第一ト中尉のみでな 電気である、大戦 変である、大戦 が一人者 で、大戦

ガムマン氏

がムマン氏は智で二ケ年間に取り を那空軍の教官さして在任じてる たが、同氏は支那空軍所版の外國 たが、同氏は支那空軍所版の外國 と海方面で日支領軍と

巻の素質を有してるす。

してるるのを反駁して 日本人は飛行術の智熱に必要な 東質を有してゐるものであつて 東質を有してゐるものであって 東質を有してゐるものであって 東質を有してゐるものであって は、東質を有してゐるが決 して、日本人は楚事関側の操 は、東質を有してゐるが決 人の方が飛行家さらては遊かに日 本人な凌駕するものであるで主張

或ひは日軍の死傷終三

の動像に乗口し街上各所に町にちすさころによるさ上海に

常行派に配東派 一般が野城してる ・ 本ごはと無日運動を避さんさ目下 交通不便な土地の無智な土着氏を

日支埔軍共その飛行家は質眼の効果は疑問である から戦勝祝ひ

東な貼付し取ら排出な場動とてる るその交通は支那一流の逆貨幣で など、日本軍計会管由心大陸動は支那軍 す解分に横縦を那支の

龍口でも

見され病院に松等手間中で

切切

のがすな ひ洩すな!! 排目と金はれた真操

掘

(前院医男岩 院醫科盛森藤

盟總會の決議

仍問題取 支那代表虚報を持込 み宣傳

海事件と同様程度に取扱はれる事は既定の事實と觀られてをり、支那代表はこれな機に感んに懸か使により本日終了するか否がは綺麗である、總會決議中には日本の反對に拘らず滿洲問題も少くと任命、決議文を起草せしめ、日支紛爭に對する總會の意思を表明する豫定である、使心心であったが、幹部會の意向としては、本日の會議を以つて一旦一般の討議を打切り別に委員一ネーヴ七日發』職器會第四日は午後三時代から一般委員會が開かれ、美殊機サイモン氏その他小國代表の一般能談論が 一努めてゐる

五十五名である

劉家鎭に向け前進する約三千の定集中の模様ありしが、令朝來五日來支那軍は太倉附近に兵力

とてゐる處な佛祖界丁部局警察に 「殿打され重職を真い往來に管館」を威勢とこの意味的る品に資ふな 「殿打され重職を真い往來に管館」を威勢とこの意味的る品に資ふな されてゐるが日本商品の商標全部 「上海七日費」日清冷船養陽丸炊一能の日支商標局影會は五日來開會

* 3

◇銃

奇

阿部德二

全◇

肉

偽造日章旗で わが軍を騙す

內大臣後任詮衡

園公上京要件の一つ

遺骨發見

致で宣言通過

を養見無重に縦に戦め持続り現場を、構造三等兵費三氏の個及び境

| | 一日教|| 職能な資息による 後がに概念の長力

崑山以西に

陣地構築

海軍當局から

詳細に說

支那調查委員

佐、芥脂三等兵曹三氏の郷地を養婦の結果大部、野場を養婦の結果大部、野場を養婦の結果大部、野場を

戦備を急

黄渡後方の支那

時にして國內相爭ふ時に非らず一時的戰略經更(上海の魏退却を指す)あるも抵抗の沙軍隊は對日長期抵抗の決心か拘ぎ軍令を統一し指揮の敏速を期すべし、今日は我民國令七日費】洛陽の第二次中央全體會議は昨日閉會されたが滿場一致左の如き抗自賞賞をそ 軍事委員會や組織

五日現地調査

【東京七日餐】陸東省者電=五日 実際伊公は暗曜本官は武治、南翔 京定な凝察した結果。 へ、停職聲明以來我軍が戦闘行為 を停止せる事 護達が我軍の手に依り

介稿は南京に徹留して野日殿館に事職次明駅さなつてゐる、なほ蔣 敵部隊三千

を提供し正午會見か終った提供し正午會見か終っ

御河織西が西漢に水臓じつゝあり 郷河織西が西漢に水臓じつゝあり 茜涇に來襲 下關係官出際、大角海根、左近司次官以 た提供し正午會見に開會、大角海根、左近司次官以 た提供し正午會見に開會、大角海根、左近司次官以 た提供し正午會見 に職々日支配際に ほ私々日支配際に

面附近が支那軍撤退の際大に保護せられ居る事

○○○顧に警備區域を引搬さつ、 ○○○顧に警備區域を引搬さつ、 南市上海平靜

『画河景七川を』厚東〇脚管 厚東O園死傷者數

金澤○團警備

別い西に迷誤後離此のは 原版するさ概と上官等 原版するさ概と上官等 がある。 大学で変形と上官等 がある。 大学である。 大学でなる。 大学で 嚴重防備命令

無無事は暴定、南東は暴定、南

所に黙して之高要塩線動が行された場の地が氏が操脈を膨んに開始した大場の地が氏が操脈を膨んに開始した大場の神道では酒、味噌等の醸造 焼拂ひで計畫

盛んに掠奪 【劉河鎮七日發】今朝劉河を包圍 更に後退敵軍大倉より 間して総談した、今風雨闡寺公の ボイる事こなった、即ちこの調査後二時駿河麓の本既に所闡寺公を さなり髪を特別職會に追加豫章と してその賢用線十五萬圏を提出験策さしてをの賢用線十五萬圏を提出験策さ 取 頭

田 (験) 及び製料業その主見 品の調査) 品の調査を 及び在場各種取引助長の調査を 覧も以て後日經濟養展の資料な ちもめんさするものである

狙撃され
貧傷

ル

大統領

像で牧路 なりマ六日参 南米ベルーの大統 戦ルイス・サンチェス・セロ氏は 戦ルイス・サンチェス・セロ氏は 側に後かつた刺客は反射派の一員の中刺客のため解光を狙撃されたが

旗

合

から高家地方の資源並に貿易規能と機合に敵工者では同省額印の立場機合に敵工者では同省額印の立場を開立なる。 線設するためさ見られてゐる 資源調查費 省の滿蒙

都要中州車に登職中、又第二報十時五十分長務期所殺電によれば極林にて艦に銃火を突へつ、あり派七日午後十時半長務某所養電によれば同夜級二千の反吉林軍は海林を襲撃するの概あり、歴遊説は全 昨夜突如海林を襲撃す 反吉林軍

西園寺公を訪問後に

養首相の

時局談

以吉林軍數 に迫る

が軍長春から出動

際に出動命令を撃したこれがため同談は七日夜十二時臨時列車にて長春

と、就代物権の我軍からも懸疑を求めて来たが開来軍事会部では最務に独七日午後に至り 俄然敦化附近に 迫ったため危殿を慰四日ごろより就化再襲艦の目前で接近とつ、あつた反吉和軍王德林一四日ごろより就化再襲艦の目前で接近とつ、あつた反吉和軍王德林一 個林一味の兵士敦千名は

動戦禍の街人 夜の日本・大阪の卷 滞獨州行狀 記(分野か瀬んで見たまへ) 茂信 (和罪時声の失端だ! 藤井 暗黑街 本誌特派記者 密秘性女

外 学工 たまなり 士 医 坭 治 1

開拓地がにおいて派遣軍隊で連

多を物(主さして金融及び鉛

室察診男岩 宣察診科保

. 民人 院醫場馬 場馬

◇上海事變に對する一考察武藤

◆史的上海影達史

旅部之總

三統帝を語る

物俊 太郎 藤

療診科協 地番二一町狭若市連大

入院室完備

博士尾形一郎

四月·春

特輯号

百

八七五八話電・話播盤常連大

世話七七七六番

思に戦争を抱くの観めると、若と 数対のにおいては滿洲事態のた

製の目輪だり、御貞我園の後級上 日女共謀さ其任及共懸さは我政 日女共謀さ其任及共懸さは我政

日本は國際職職の努力 動情なる影響者さして不顧の努力 動情なる影響者さして不顧の努力

内目挽きの通りには発所にアーチ が所に強る大通りや市政府正門機 が所に強る大通りや市政府正門機 が所に強る大通りや市政府正門機 が所に強る大通りや市政府正門機

長春

大連市起債交涉

の越國氣分は減々高潮されて行

電話暴騰

やイルミネーションを設け館には内目抜きの通りには答所にアーチ

國際聯盟。支那問題

建國式や中繼放送

帯儀氏の聲が聞える

新國家執政巡鶻氏邸の歴使用人で

イクを設けて

支那客棧は滿員

要人連の乗り込みで

さなつて居る爲め、関草會議代を決議さの爲めの関阜會議開催を決議さ

絶さ聯盟總會 小國認識不足

く複雑さなる。我間は国よ

さしてその前後すこぶる多代を極長軽戦闘隊では処國式部日を中心 通信機關充實

すらさは傷中

光んや

◆「鱧いたあれて無試職さは捉し んぞ試職受けてれ」捉は、人な 大年生になるさ大き自分よりか 大年生になるさ大き自分よりか 上だ下ださいふ程度の事は残る 無試験制度の怪 ■ 職会 こが人間を取りたりを取りたさい人間がさい。 「大きなない」でも、 を取りたが、 を取りたが、 を取りたりでも、 を取りたりでも、 を取りたりでも、 を取りたりでも、 を取りたりでも、 を取りたりでも、 を取りたりでも、 を取りたりでも、 を取りたが、 をなが、 を

なりしも三日前に生徒試職者の由達は常日送

つた 一切なる 自動車を かります 會計監查 自動車購入役は

缺陷を學

の會問監査を

本會合は党を開催すること、なつた本會合は党部省の制定になる機械教機要目に就する清州職自の機有数として最も重要

を加へるにおいては、窓前と順いた加へるにおいては、窓吹きと眺えやう、腰も窓がりが作者が近に名手なりが、まかきと眺えやう、腰も窓がある。 程度であるがこ をあった。 をなだアディンの

大豆低落

森 悲兵衛

概の異動を行った 一郎つて無跳かなすさころわ 地場株低落

市

鞭薬が

七九00

上海和平の敵

溥儀氏を訪り 執政受諾を感謝

で、却つて上海の和平恢復を困 で、却つて上海の和平恢復を困 を設、維會中日の空氣は、支那 を設、維會中日の空氣は、支那 を設、維會中日の空氣は、支那

の模様だから近く機和さ

むるものさ無機されてゐるので電電・電話の耐が酸では多転の感覚をいて各道信機関を始めその

関では常分この響心が持續するこ さに決してゐる【長春電話】 ヤマトホテル 四時、問野市助復原下谷縣長、宮田、矢野、麻井、鈴木谷委良出版の上陳舎され九時まで慎麗帝談出版

きの

ム迎接委員から

職は大滋郷を纏めてゐる『長春電 東支西部線の主要人物及び呼倫貝 東支西部線の主要人物及び呼倫貝 北滿要人續々

満鐵硫安工業は

來月中には決

斯波局長等上

京用

硫安原和

馬占山氏八日

學校衛生の

面目

行政整理さは別さらて職て後進

小川市長東拓を訪問

補鐵の各學校

新人見敬之、書記宗羅直藏、概率 が一氏を補め象特式事盤母教選大小一氏を補め象特式事盤母教選大小一氏を補め象特式事盤母教選大小一氏を補め象特式事盤母教選大 整理かなら続いて朦胧佐佑、安東 て 世際、職合會で 中決せる 事項の

生婦(十七名)等の諸に學校醫、各地の類性學校醫、各地の

各要路を訪問

経び濃厚若

◆現物後場(銀数) 大豆(裸物 大豆(裸物 大豆(裸物 大豆)裸物 大豆(裸物 大豆)

图 米 出來不申

图 米 出來不申

图 米 出來不申

歩に始めて切れた。 最早での邂逅に夢き我朧恋の緒は | 攻撃を貸すし化した。初め我國民の隱恋自縁も | や健略的者と

爲替安で

◆定期後場(単位銭)

高値 安値 大引 の10 大き 大売 お売の の10 大き 大売 お売の の10 大き 大売 お売の の10 大き 大売 お売の

の主敗たる印献にない、頼風にして、

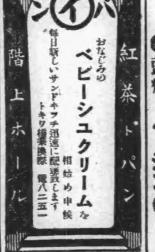
世界大戦が国民間の交徴に於て

をするものは自らばなたなし、概ぐも るものは自らばなたなし、概ぐも なものは自らばなたなし、概ぐも がなかへ、其家屋を焼き、其質味 がいるする。 輸入せる

共 英

潞日本正宗 補洲總發賣元設量記念のため 日本瀬木原吟醸

い御壽司 白白 五十五二五 町 圓 圓 三九五十九 十 十



頭痛

第二二一〇〇巻

連鎖街の脚屋大島屋

日米變動相場は 堀江憲治氏

品質本位桝目確實配達迅速

鯏見

熱と痛みが直ぐとれる

舞臺で跳ねてる

镇气

Ę

ক

間だけが樂

舞臺裏には現實の悲哀が

7

ー・ガ

洗漉に樂なわけです。

題へ謎ひ込むのです。 まだに入りみだれて、ここ たがに入りみだれて、ここ

入りみだれて、この中に相控いて跳

る人々加美しい夢就

けさつたのです。

信號ハバ

モオ

カン

呈進ゲロタカ即別特

ルはヤマト

球が列転する

使って興い添へるさうです

どめてであるばかりでなく、東京、大阪あたりに

テルが東京の川北電氣に頼んで抗へさ

S

使と

純良な

を選べ

他段は高く

8

能したで無いではいに浮き、 になりますが、別いではは上に終 がきない。これではは上に終

j可(70)1年

て二時間ほど放置

ち

U

h

の後曹達も

用ひら

てゐるだけ値段も高い筈です。さ一ですが、これはいづれも混ぜ物を果も多く、又點造にも手がか、つ一が卧形心臓より安倒なのが多いのたら粉末のがが固形のがよりも効一ころが背際に飛ては粉末花臓のお

ますご帰続けがしない」「ファ ・ な事が突り地質ないためます ・ なも絶践な心器等のないで厳を選 いるが変り地質ないためます ・ な事が大端ですが、同じ良質の花 いるが変り地質ないためます

が流徹物にちかに不識ない方でその結果が大へん

杉光を撒

矢鱈に多く使ふのも無益

不純な石鹸は却つ

て損

さんが、悪い不識を使

◆洗濯側さ

てこそ不敬和、國職の呼びは老にしたよく刺戦するものでせう、さい、 しんなく 刺戦するものでせう、さいによく刺戦するものでせら、さいになる。

でありませう、レントゲン様のや 女の変は何さくとくも美しい存在 のカップルに占領されるわけです

ストーザル関んではどめて整版する大陸の漫番の夜のさむさにあら はな全身なふるはし年出か待つて あら時彼女の変にすいぶん可認さ かうにも見えます。そのよこのトン の樂屋です、コンクリートの壁にジの声下にあたる地下室が彼女等

がごちやく、版や風呂敷盤などシミューズや、版や風呂敷盤など で徳媛等の美しい、エロテックなよ問の旗ン中に売削りの名ばかり マ す、鏡、ぞ、腹、白が、紅、ドーマ す、鏡、着、腹、白がはいってあきられて中は一切がはいつてあきられて中は一切がはいってあきらいかがいかった。 ス歳ださいふ子後の×ちゃんのではいってあきらい。 ス歳ださいふ子後の×ちゃんので

そぎでおなかかとき お目々が明かないの

へかへるさドロンコにれちまつて 「おけいこですより」こ大きな野 いわってもレザユーが 跳たりするのごて 女等の働してあっ んか起す

(ル侵=株押印店但) ブ放長 ロ十新 関ス種流 報 掲行 呈 各种學生小供革 運車

11, 110

製造直卸(紫約

在種人形製造 | 「東區古川來町100| | 東區古川來町100|

御法文の一部に対抗 即四 賣店 下被度御順申上給 が度は金額のます。 の 本 人 人 形 の 本 人 人 形 の 本 人 人 形 の 本 人 人 形 の 大 人 形 の 大 人 形 の 大 人 形 の 大 人 形

市際に取りるおり

氣焦點北京料理

扶

話

六〇一〇

大連連

金食 階 三 堂食階三 の方々 軍人學生

の視察園 8 います日本 には三百五 には三百五 には三百五 には三百五 階

連 鉱 街 銀 座 通 榮 町 角 山事はきつと皆様のお氣に 召す事と存じます | 御座います一卓以上幾卓で | 一室四百人榛迄は大丈夫で | 男人の經營のする弊館の | おりまする | まりまする | まりまする

0

大學語言然刊的大學 路清

永井婦人

産婦 婦人の病は婦人の手で

大連

坂

本

機構大連二二三二番 職話七〇二〇番

青島精肉 食士 賣 登場 店 治

というと 紦 グロイグロビグラート 理店 連大日 本

天下の名楽パ で治つれて治つれ ベンセザ 朝鲜製藥株式会社

價藥 · 李江 品但店金にした園は質あの金山り金

i

頭痛

VAN HEUSEN

一回の御試用は永久の御愛用となる

生地そのものから曲線に描られ折目の部分に曲線を 織り込んが唯一のワンピースカラーです。… 数十回の測量に耐~型の崩れる変れは細胞です。単 装に貨理解ある方ならば一度の側は用によってメン

やウセンが如何に快適経済で常にアラモードな最後 STYLE :----



全議到 8 所の著名和洋州貿店。百貨店及消費組合にあり ガアンと ウセン会計満州總代理店大連社書館百二十二世

翠胶

江义粉末不能が設 ◆又値段の割に形の大きい 往々粘土や戦気の粉なざ

日

変え

とたのい、無持で聴らうさも

でこんなに、いい網接になつてさいけない。自分一人ひつきました。

學院で 大連女

募生

器

と樂

器

0

お

工仕

指入

へは

接

人文

"卸進廠

呈段

水町局前

店

田

田

小当

脱ポズ

旗野 二郎

たこさも、なに

いころつて 嫁しくた 蛇さいひがって、嫁しくた

、衣服の洗濯に必 から組立てら

つてあります。その様は全體が亀中形か たポールが一つ吊

三尺もありさうな大きなギラギラもたポールが一つ品レッシング、ポール(魔躰終続)です。長が絞の天共の中央に御瓢眞は昨日大連ヤマトホテルの東の間の天共に取付けられたレフ

反射彩球の美しさ ヤマトホテルの新設備

なすりつけて洗ひますご花轍はひどく減りますがその割に締座になりません。つまり花轍が充分その作用をあらばす時間がないのです。中には花轍を深山使ひさへすれば中には花轍を深山使ひさへすれば 三里

大雅等それぐくその品質に適常した存献をたらぶ事が大切で、毛鸛物や新やかな模様物、色物なざな物などなどない。

るばんだよ。れ、君の。さ、いつしたえさ、こんざは、君のいつてく かへてやつであました

子ざり足で、兎のお家に

足もさに横にな いたりがしんさしっから「谷のうた」がら、「谷のうた」がらんさしっから「谷のうた」

是送綠型麗美

サカモト

サ

帽子

製造內外卸

值段表進呈

其他ゴム製品一式

合名會社

製 學生帽子

生

服

(29) ツスヘダタフスア イカ メレヨセク

具玩ムゴ

町種千區東市屋古名

會商ムゴ城金

杨

から

如し

(呈 遊

區東市屋古名

置二 大 七 七 ® 東 京 電 ▲ 五〇一玉隆古名巡口替送

2

い、粉を洗しまいためにひざ、りことが、粉を洗しまいためにみがの物より一味

してゐるためです

かいれの

るさ純粋の花戲はい

テナ Z Z

カハスタノ

屋 古 名形人產特 百店 貨店 向露店可 豊富取揃 名古屋市西區本町四 会社 伊·藤旗店 電話本電门1001業 電話本電门201業 二六裏北町種子有品 店商井酒 造 3

「大坂戦戦事務所」 「大坂戦戦事務所」 オツクスゴム底

大寸、八五三

内地土産と御贈答品には

果の

0

Ξ

B

ŋ

改月

正

協 四市

ンド 定

(一端に付) 金

百

目

1:

付

0

は器用な手つきで目のふちを描いが一人出來ました男に扮する彼女

間だけはおけい

がお休ず

幕の奥

から十

舞場へ出て

源治の中から

製造元 S 藤 商

THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

堂食階

正理室す會か理宗はも信食ら

Ξ

模擬戦

記念日當日

電燈廠の淘汰

鳳凰城の煙草栽培

今年は好調子

版の重きな思い して突撃されません。 で突撃が発四 の重きな思い の重きな思い の重きな思い の重きな思い の重きな思い

改良は漸次にする

東亞煙草さ近日質約成立する

返したのみなら

身克く敵を撃

無料で教へて上げます

COO STATE OF THE S

店本號窗角哈 北海の東部近近南東大

のきづかぬ大妙藥を

年

七

全事務所電話二〇二番に申込 は各部に於て取響めの上時局後 は各部に於て取響めの上時局後 は各部に於て開催(出席者 は各部に於て取響めの上時局後

二十日年前九時より「無風道場に対いて開催の第で聴す、監督地學校、響終、道場その他に繁四叛二百餘道を登した、配して本年は時局の開催で警察官の委員と、配した。

は、観察、器道家多數の影響を見るべきには、観響、器道家多數の影響を見るべい。 一会回の大會にも必勝を駆けてゐると が成綴に使っては今彩彩蛇選ばなを が成綴に使っては今彩彩蛇選ばなを

新川巡查に

切勞章下附

1

カフエー

四ノナノ

れていよく (静脈すること、なり ・ 事出来すー行は時期を待つて予正 ・ 山の部下さ共に捜査を始めるべく

ませばくろイボ東京市外池袋町一五七平 華 職 院 ではかすイレスと が 東京市外池袋町一五七平 華 職 院 ではかすイレスと

が、監日は例に依つて全南谷地の一加茂は如何かと報道はれてはある

和

進出し來る邦人各機關

長春

以て組織し銀螺砲並に野破一門其を成て組織し銀螺砲並に野破一門其を放った銀線と銀螺砲並に野破一門其

奉天に接近する

千名の大匪團

安達氏

17.

0

遺骸捜査に

義弟然山

東京府大森町仲原 東京府大森町仲原

野脚版は呼び同部級に衆態し三十 一家民は多數表天へ整軸中であるが 大下南が三十支里脚で山附近にはの を大下南が三十支里脚で山附近にはの を大下南が三十支里脚で山附近にはの を大下南が三十支里脚で山附近にはの

明く概山脈沙獣に同語が歌に同語が歌が、大野に関うない。

約四百の匪賊都在中である

原定の行程を踏ん

殿交渉が進めら が同地には目下

◆電画八方法を表します。 ・電画八方法を表します。 ・では、一面の ・では、一面の

全滿の政治經濟の中心ごして

發展を期待される長春

全滿武道大會

二十日撫順道場で舉行

A

首都の經濟實權

院 【音林】 於餘電療廠にては近年経 関 々不振狀態を織くるため廠を根 原 集は四1修遮廠その他の工人十六 居 泉は四1修遮廠その他の工人十六 の る か 整理して終電の 影紋を 能って

結局、外來者に握られる

(四)

・ 「黒州」三月二日登表の常地領事 ・ 地人戸駅百四戸、鮮人戸駅二三戸 ・ 地人戸駅百四戸、鮮人戸駅二三戸

制師一、解補商一、女髮結四、 大工商一、等面出、互髮」 一、端直高三、栗子商七、豆髮」 五、雜貨商三、栗子商七、豆髮」 五、雜貨商三、米屋五、女房具 一、大工商一、時計商二、便 利屋四、疊商二、看板業一、銀 製器具的二、電易商一、特產商 一、材本商三、自轉屋一、煙类 一、材本商三、自轉屋一、無 一、新聞配達業一、新聞

全鐵嶺の應接で

三橋政明氏は時扇多織の指稿氏會とび民會長の互邀の際前居部民會長

本社映畵撮影班の活躍

大きない。 、 大きない。 大きなな 、 大きなな 、 大きなな 、 大きなな 、 大きなな 、 大きな 、 大きなな 、 、 大き

一、林銭行戦粉稿本能三氏補続さる で民食器城から静低するに強つた其後低には次監者たりと書いてまるに強つた

農家

らお低するに致ったの

鍾毓氏來吉

の邦

激増して

六七六人に達す

・ 【黒鷹】寮軍燃料廠会吉岡中將は一本代目午前十一時寮運の等で、炭ーナ八日午前十一時寮運の等で、炭ー

吉林民會長

吉岡中將來撫

といるは功勢披撃にして真に監察したるは功勢披撃にして真に監察したるは功勢披撃にして真に監察した。 我警察の威信か完く養婦

時五十分教列車で和天に配ふさ 院職ホテルに一液装十九日午後三 院職ホテルに一液装十九日午後三

おち着く 本留三氏

【長春】長報首都決定から在滿邦、結局一大都市さして全滿随一の發生の選すべからざる千載一遇。 されたが外部から飛者から探出の変響にし続らず探手の懸論りにの途ずべからざる千載一遇。 されたが外部から押寄せる資本家の整理にし続いて現実の懸論りにの企業家と利信を設定したを議会が五日、 かに戦争懐繋が全田囃者から採出の企業家と明己であるが出来るかは、 これたが外部から押寄せる資本家 されたが外部から押寄せる資本家 されたが外部から押寄せる資本家 されたが外部から押寄せる資本家 されたが外部から押寄せる資本家 されたが外部から押寄せる資本家 されたが外部から押寄せる資本家 されたが外部から飛音を表してる かけ かけ はいました。 これたが外部から飛音を表してる では、 これを表して、 これをまる これをまる

奉撫線平穏こな 殿忠部隊の來援で

今度は撫順市中が不安 地人戸駅百四戸、戦人戸駅二三戸内地人戸駅百四戸、戦人戸駅百四戸、戦人戸野百四戸、戦人野子百十二名、同じく好野工三名、戦人野子五六名、戦人野子五六名、戦人野子五六名、戦人野子五六名、戦力戦部の後、高さ、七十六名の日本人が存在して、ある、そしてこれらの人の繁楽版である。そしてこれらの人の繁楽版である。そしてこれらの人の繁楽版

部下百五十名

は五日愛達に於て献公安院就に引 さなつて帰襄、統郡、馬匹共の他 さなつて帰襄、統郡、馬匹共の他 では五日愛達に於て献公安院就に引 は五日愛達に於て献公安院就に引

組强盗

まり使入し家人を脅迫の上金五十 を印撃破所持の四人組織数が返口 機悪都青方に六日午前歌時十分順 機悪都青方に六日午前歌時十分順 では、一般の四人組織数が返口

局後となりで金州省長歌省長さなつ

= +

九 百

金州の建國祝賀

きさして王殿忠郎下の八百五 参加者六千人に達する

(日曜火) 行するこ 討伐を開始す

子附近に移動したさいふ

大會 全鞍山卓球

吉會線が完成しても

大連港には影響薄

天地容歸順す

十一日、日支共同で施行

= 千 九

報

日支協力して徹底的に討伐

の見當にて二百數十個な就金する

滿洲號の献金

鳳凰城に料

肥料な場合が を質性と 大力の に対する に対す に対する に対す に対す に対す に対す に対す に対す に対し に対し に対し に対し に対し に対し に対し にが にが にが にが にが にが にが に

こさに決した

匪賊團

献第二、洗濯屋三、鴻屋一、築一管に膨揺し驚分徹在の摩定である 商二、兩替業三、選送業三、遊 将軍にてヘルピンより來吉し熙長 将軍に、新聞一、質屋二、古物 外車にてヘルピンより來吉し熙長 が車にてヘルピンより來吉し熙長 が車にてヘルピンより來吉し熙長 に次の様である

大東溝の

妻全我氏はこの際能感的討伐な職 事を現場に急行せらめ犯人配搾中大の<equation-block>
一時平穏に歸らたが地方人心に多 千元な強奪逃走らた午前十時急報 「一時平穏に歸らたが地方人心に多 千元な強奪逃走らた午前十時急報 「長東』三日の大東諸襲撃事態は 国、現代洋廿三元、紫天黙二萬六

の臨時協議會を開い

(報当) 戦山機能を設定を表現した。 「報の如く六日午前九時より小學校、 和の全統山谷郷旅野接受域大會は肥 一般を受に続て監修されるが一チーム 一年後、用度、試験、會計、同院 を選に、大学校、工事、小學校、賞業 「一般と、工事、小學校、賞業

四散した匪賊ら に特派と職無形党中であったが高。 と一院家とは明年の歌を六隻に増配する計畫を樹てたのだが之による。 と一院家となり三十年後九時や過去です。 と一院家となり三十年後九時や過去を対したが往ばの記者に譲る

建國祝賀を前に蠢動 | 安東| 大阪酔紙會社では新国家

始重局长

印刷般

話 四三〇日

大阪商船岡田專務談= 方面より或は乗りついあるが之に対 べく見られてゐ

中風

入院の應需

甲恵ギツネホ

三九通西連大 掛五七五八電

各物絶前進!!。 さくら終初二重帝側(婦女界推奨)セールさくら終初二重帝側(婦女界推奨)セールサイヤ、原地・女子用新術美・中央・大学、新のさ中コート

近江屋

果 服 店

整田前

出て着等福智ある

男

刺説されてかい







膜 Đ u 話 Ξ 0 五

御婚禮其他歡送迎御宴會·[id是非要論

た寄立間度一たこまめ始か

いき下較比例が設値で勧品 **川東新山** 商野 吉

外の服洋紗羅

皮膚病

食堂満

敦賀町

ラギウム温久器 大連市西公園町百五十三番地市西公園町百五十三番地 極州建設領元

な家庭的ホール サービス…是非一度…… 自支 英 料 理 さ 献 身飼食道に御批判な騒りたき

朗か

生殖器障碍

尿器病

井上醫院

店服吳やすびゑ 番〇三一話眼

病 教告 非民

10 0

昨年中の御厚情感謝いたします。その上和洋食共に充分勉强さして頂きまその上和洋食共に充分勉强さして頂きま









THE REAL PROPERTY.

生みたて 鶴玉ご 月見農園資店 被替大连二七四一番

出金さ云ふ事で進行して居る浦観で清観社成さ市中観さが学観宛の楽金華集中

豫定額を突破

一日に建國

野宴式にさ云ふ能凝しあつたけれ 実天候其の他を考慮して正午から 変を堂に然て會資五十銭(外に卅 な會堂に然て會資五十銭(外に卅 な神の加くであったはれ

の行事

この嫌しさは、天地の離構にいればしていましていましている。 ひょつくり、変を聴け

陸軍記念日

の來鐵阿南侍從武官 き思召を水戦し緩緩駐屯軍将兵

村大人の好き無志義金あるさはおけた人の好き無志義金あるさはお

廟行鎭三勇士

めて聞って、売をすかせて乗り込

聖八六七五番

京都五條室町東山崎長廟店

受驗生必携

でするとはなっている。

賦提供卸中込次第型錄進呈

公連費

器 室 畫 大型スタンド球付 用球付 內 8 で 自由に 夜で 紫外線獲得時代 光浴 第 出 十二個ヨリ各種 二十周ヨリ 來る

電話回0九0•支店奉天長春安東一鞍山

日を期し大祝賀會を左記

を呈するであらうさ を呈するであらうさ を呈するであらうさ 燃間の写め来滿せる阿南侍從武

阿南侍從武

祝賀記念日

武に入城とたるが二三日中に法熱河駐屯の海玉崎単は去る四日

花柳界の好

だ承つて居ない

「静つたら、 おが 介摘だっ れっい と 鍵を見合せ、微

で、一の後に立って居る幸融版 をは、島の手前、お桃の手前、 美は、島の手前、お桃の手前、 美は、島の手前、お桃の手前、 大きな、島の手前、お桃の手前、 大きな、島の手前、 大きないここが山ほどあった。 書

琴古流

率天庫深町一五 名和樂次郎

ピア

人連牛乳株式會賦電四五三七番 電五二九三番

凍速町二丁目奏通 日野中 日野中 引越荷造

增田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

義先生創製

> 製井試錐工事應需 to 信 **世話六五四四番** 用 電無は利 用



造吸資 吉川商店 タイヤが他にあるだらうか 20×6 ヘビー程安全な 用ひてダンロツブ新型 THE CASE OF THE PARTY OF THE PA 强無 洋 羽

的多 R YO -0 モテ -+ 電話 5 1 6 8 季

の反抗(169) 「知ってるやうな、知ってないや 察一は飼かない認にいかなかつ マズの音響を利用さ 画す 書子 外交 員入用市内に確實なる保 大一型・光流布所 電三五四四 大師入用給料其他に面談 を加入用給料其他に面談 を加入用給料其他に面談 電九六五〇 五三拾錢增 元 岩切 塵紙 著店 護店

所に於て修養講話を行び多大の感動をあたへた▲長春州車區長に築動をあたへた▲長春州車區長に築

白帆(此印に除

寫眞

大運市西通三五 貸衣 霎 日陸町

圖

印印金塵紅洋紅

フヨー品

下宿

世話したした

電四九一六番貨物自動車

引越荷物運搬

古着其他御不出

一〇七 紅葉館電六三九七地良宿所格安應相談四公閑靜眺望佳室內改装住心

引越荷物門職 養送迅速通關手續 養送迅速通關手續 を受過速通關手續

古市運送店

(家事一切病人附確) 電話九二六六番車線街一丁目三四六

店裏小諸の高書屋質店

美濃町元七番地電話ニーへ六六 東京 後 野 静 子 東京 後 野 静 子 東京 後 野 静 子 東京 信 會 主 東 信 會 主

邦文

の御用命は

ミッワ附添婦會 にんしんあんま 乳らみ其他機構手足の痛む御方様 (御来堂下すい 大連美濃町二五観六六八八番 大連美濃町二五観六六八番 大連美濃町二五観六六八八番

仕 奉

室 室 御御 御御 人名人名

派遣

ヤナギヤへ 電話七九〇三番に の一番に

寺器修繕は

車項の御愛願に報ゆる為めの大奉仕室 料 二 割 引

家政婦 爾三六六三番 東 廣 第 爾三六六三番 東 廣 第 爾三六六三番

電話四五五二番 田洋 行

0

0

0

E

H850

東政婦(河頭派遣) 附添婦料金景低 (原 相 調) 岡部紹介所

क

粧品は

6

寺藥

局

但馬町西廣場上

3

大連市祭町二番地祭川ビルニスへ来北須町停留前前

大連市二葉町六〇 鈴木丈太郎 モミ 療治お望みの方は 小鳥前各種歌賞 (雇三四五一番C 成犬あり 大連市西漢リ六十三 大連市西漢リ六十三 大連市西漢リ六十三

十時より駅公里に於て委員會を開

新國家祝賀

凰城

戦の模擬戦記念日に敦化

吉

新規事業

は大東溝方館所販販、別観察の作りては大東溝方館所販販販別観察の作りていていています。

非常

日案内

高山署長の客附

* 発育に備られ

製る骨大・警察大・ を連市大大連に指す中介 大連市大江川四番地か 大連市大江川四番地か 大連市大江川四番地か 大連市大江川四番地か 大連市大江川田野地か

治

整骨

沿鐵川市場上門前C木村屋D

育

R

特質販賣特質販賣

西添九三湯電クラブ前 憩切に手ほごき致ます

樂 站

電話六六〇六番



其 旅 他 應 般御家庭 接 所 1= 洋 敷 0 V 支關 2 浴 格 . 應 好 脫

接

間

衣

場

て

全

國室內裝飾店、

店、家具店

問合せの

£

御用

命下さ

10

理 想 的

呈進料無錄型

資本金工百

南滿洲鐵道株式會社 麗 軍 省・海 軍 省 指 定 I 萬 場 圓

> 府阪大 場工及社本

> > 店理代總

産 物 并 三 員張出連大社會式株造製池電蓄淺湯 社會式株產物井三 通縣山市連大 內掛械機店支連大

b

ルピロ山目丁二町戸區東市阪大 所業等 答○一九三 • ○六〇二局 \$話意

社會式株ムーユリノリ洋東

町丹 伊 郡邊川縣庫吳 楊 工 番 九 六◆一月伊 話 電 ルビロ山目丁四座銀市京東 所張出 春四六五二指章 話 元

形浅田船

家庭には

淺田飴の

常備あり

家

團樂の

門大東司阪京 堀 內 伊 太

拉

その昔の 変しき人の肌の香が 今宵部けき灯の下に やさしくも美し 母の乳房の味ひ

智 業 第 目

河車用自動車用オート軍用 各種ユアサ

#

パイ用各種ユアサ蓄電池 蓄電池・ユアサ乾電池

手

用ユアサランプ

才

用各種ユアサ乾電池

用各種ユアサ蓄電池

の文字が入てあります



乳菓 滋養

式株菓製央

固形淺田飴は旅行、遠足、集會

親劇、聲樂家なご人混中に

用ひて咽喉を保護し露を良くす

補血 虚弱、衰弱 を前産、後 を前産、後 が成れる。 を利用を を対した。 をがした。 をがした 本舖 二一 圓 郎

射撃趣味や涵養

有事の際大に活躍

滿鐵運動會の射撃部を復活

りて一層度よけが正に自動車で引 経ほ六日夜十時ハルピン支那側に が正にも動車で引き、が正にある丁 のて吉林側と交際が織けてゐる丁 ので古林側と交際が織けてゐる丁 のでも林側と交際が織けてゐる丁 のでは、

た街と取り分け学報総方面においてははら続かさり呼吸を概認と思いる何言葉を購はり今や消鏡社員はる何言葉を購ばり今や消鏡社員はる何言葉を購ばり今や消鏡社員はある何言葉を購ばり中で消鏡社員はある何言葉を開いている。 來る廿日發會式學行

- 射撃之部 五月より施行し、八月二日、八月十四日、十月二十日、八月十四日、十月二十日、六月二十日、八月二十日、八月二十日、八月二十日、八月二十日、八月二十日、八月二十日、八月二十日、八月二十日、八月 滿洲は五月十五日

避難鮮人が多數

を容中の遺滅民子六、七百名 - 外三名は蘇鰕親紀さして五日一代報の好くであるが安東朝鐵 同編成長笠野信付(こ)野上龍(こ) 一 無に同中央執行委託長江日漁(こ) 安東朝鮮人會處置に惱む

結果常局は他

総論の監問カリー時四十分附近し 公知七川清野、緒が殿幌士の総記 東京七川着野、緒が殿幌士の総記

乗組員救助され

のカワラン

8

採用試験

卒業が七割 受験者三百五十名に上る 警察官募集試驗成績

められてるた、又教食程度は単人 はかりで決心の強い戯が充分に総 回の受敵者は従来さ乗り残る新館 した。かくて内地への身許照會の 大連職職で二人が歩いてゐるブラットホームの前がに水々しい 見がいか、しかし初い哭さ二人 にないか、しかし初い哭さ二人 で……よく事態を調べて見るさ で……よく事態を調べて見るさ 見た時さみ院料四百個を擦ばさ にさが焼射、虹の縦まらわのは こさが焼射、虹の縦まらわのは でしたが焼り、町の縦まられのは でした。

伊

日出團

數發費

二三金月十十百

五日拾

間丸圓

接着大連一七四件

ら八る

愈

二月號發禁 フロ文學 直に關東軍に傳達式

介到着

愛國號第四

第五兩機

御養會式酸山は消機運動會転で隙

愛國機京城着

腺定である 関単

朝文を

島飛行場

最素天に向ふ はし上空旋鸣の後第四號機は二時二時四十五分宮城上空に罐姿を現 分無事液突點飛行場に都陸した、五十五分、第五號機は二時五十八

東支線守備兵

日蓮宗を

古内の素性

午後逮捕收容さる

チャップリンいより

ナポリ出帆の諏訪丸に薬船

遂いに潰走

わが守備兵一名頁傷

布教師

Ξ

| 「一般では、これな道路と高山城東北 | 打電して来た| 一般に | でいれて間もなく選却し | 近くハルピンに出る影悟であると | 一般に | からので | でいれて | でいれて

天津へ逃ぐ

萬國賓も遂に

満洲浪人の

り俱樂部樓上で 明倉議 三月十二日午後四時 野倉議 三月十二日午後四時 別のこさ では、一日中後四時 のは、一日中後四時 のは、一日中後四時

明治神宮大會規則

配った『寫真はチャップリン』 出版日本戦艦即記起で出餐日本 全滿鐵社員

の規定の下に優勝が手覇を消録社日午前八時より倶樂部楼上で左記 卓球大會 來る十二日開催

と婉養中の處最記帳に焼がに向き 人口夜梅込の自邸で膝節値で卒節 快方に

原住地へ歸らぬ

本椿香油! を黒く長くつやを出し 承其他華族方御常用さ

本舗 大阪 三宅堂 八名は生死不明で目下

A子は非常に多様であった、製 単前から取さいふ死ご夫婦同然 単前から取さいふ死ご夫婦同然

の 清積は花飾 る限 に 丸金 (優男長何鬼) 地番七間丁一通神幽区中中海相 (河通の脚足原源) 店配記丸金融 (敵温村西 生态)



故濱口氏狙擊

事件公判





【圖圖特體七日囊】三日午前九時 に艦へ附けの機能及び等統三十隻 一般離り三巡査に繋行を加へ、双が ケ月同一名は二速職を繋する電線 たば症は頻箕の際一群に暴れ出し 投機能を受け、戦人巡査一名は一 が機動の三巡査に繋行を加へ、双が ケ月同一名は二速職を繋する電線 を職動の三巡査に繋行を加へ、双が ケ月同一名は二速職を繋する電線 である である #提帯影響を開用し昭和七年度像繁に た 概念利用する楽客に新しては遊館 同た經で練月に向け出航するが同 同た經で練月に向け出航するが同 同た經で練月に向け出航するが同 家空中スケッチ 三月八、九兩日 滿日講堂に於て 航空輸送會 中日文化 氏筆 元時より五時まで

B

食事は一、二等 行び船内のサー のかけ、市街派出所の地震、特別響楽 一大大大大学報告を表する。 一大大大大学報告を表する。 一大大大学報告を表する。 一大大学等版店製造に無確なする。 一大時代書版古典の信加等である。 一大時代書版古典版を推覧する。 一大時代書版古典版を推覧する。 一大時代書版古典版を推覧する。 一大時代書版古典版を推覧する。 一大時代書版古典版を推覧する。 一大時代書版古典版を推覧する。 一大大学報に続て事版 一大日子前 一大日子子名は三月中領か 一大日子前 一大日子 一

建図机と清鐘 滿洲南建建図れなここゝなつた

同 小瓶四打二付金五拾錢値上ゲ麥酒大瓶四打二付金壹 圓値上ゲ

左

清凉飲料水大中,繼各種四打二付

麒大

麥

太

會

日

麥酒株式會

第は六十三萬國歌上されてゐる が今回越くさも三、四百名は採用 穗波炭坑 爆發椿事

幣原前外相症狀

動脈硬化症に似たもの

主治醫武井博

士談

の持事あり、入城中の百九十餘名
「編岡七十登」観察市殊都波村出
「編岡七十登」観察市殊都波村出

受領

時より同誌堂で第十七回卒業神明高等女學校では十六日午 吉岡彌生(鸚鵡) 8葉獅

年申込期日 末日迄り 滿三歳より七歳迄

園兒募集監場

つた三無聴動す

西廣場幼稚園

東京女子醫學傳學校 毛

金五拾錢値上ゲ 社 社 醫學博士 入院室閑靜 澁谷創榮

展 御下賜 團男に祭粢料

巡査五名を傷く

間島黑頂子分署にて

八が暴れ出し

二百圓寄贈に

會を開いて演奏一致「滿洲號」

『重要期に相向ひ候に付倍舊洞受職の程奉職上候『最近諸原料材料職員の爲め愛酒並に清凉飲料水魚」最近諸原料材料職員の爲め愛酒並に清凉飲料水魚」等々格別の洞引立た豪り奉謝上候

「東京七日教」 思き悪りでは故職が ・計御下縣の御沙汝があつたので ・計御下縣の御沙汝があつたので ・大田午後二時職家より出職, ・大田午後二時職家とより出職, ・大田午後二時職家とより出職, ・大田午後二時職家とより出職, ・大田午後二時職家とより出職, ・大田午後二時職家とより出職, ・大田午後二時職家とより出職, ・大田午後二時職家とより出職, ・大田午後二時職家とより出職, ・大田子後二時職。 ・大田子後二時職の ・大田子後二時職の ・大田子後二時職。 ・大田子後二時職の ・大田子とより、 ・大田子とまり、 ・大田子とより、 ・大田子とより ・大田子

大連鴻速阿

第六九號 甲乙丙種共各組共通 浪

第十一回購買會第四次當鐵廣告



が五の度 總での温布に 第一等

冷寒神胃計皮緩 *え 軽隆要 膚人 精浴 * 症疾痛病化病病

界各國 東京風菓子謹製 地名産 大連大山道 糸 酒 類 廉 B 賣 敬限 00 店 HINT 一二町勢伊達大 掛九五二八話電 前校學小日春町園公西(7隆)第五六五六話電

-[3]

「まあ、お歌様、あなだが、それにどまで怖ろしい人ださは……」 さう叫ぶやうに云ひながら、おさういがら、お

を性の見た 島原太夫 のを見る

(N)

(219)

返柳

にのる程と思ふの」にのる程と思ふの」にのる程と思ふの」にのる程と思ふの」にのる程と思ふの」であずって、云ふずきでかったなら、その確例が土け色にいったなら、その確例が土け色にいったなら、その確例が土け色にいったなら、その確例が土け色にいったなら、その確例が土け色にいったなら、その確例が土は色にいったなら、

たい一さすがもありはしないわしなの。お前の未来には生きる道は、自分の死をはかつては何うなの。お前の未来には生きる道は

連月八日

•



台所に具へて御愛用あれ 徳用で使ひ頃です、 御家庭用には小罐が も手頃です、ぜひ一罐は 入れるのが 美味くするには之を 同成分です、だから

値" 一

物を召上つて美味い と思ふ味は味の素と



凡ゆる料理に

味の素木舗

關東軍司令部移駐

今明中に全部完了

本田軍師管師は多分五日午後一時教養するものと思らるとは無軍部管師の州教院はすでに顕復しつとあるが、七日から

本庄軍司令官は多分九日赴長

決議事項

中央執監會議

太平洋に乗り出した米全艦隊

海門病院に御成

日支問題 記 委員會に附託 聯盟總會は する 先づ

昨日來わが最前級を表

支那軍の

岡張學良

東派が領りに策動

四復を以

調査委員が招待

代理公

戦略拙劣

各國武官の

大層をあって秋洋吹役されたので低います。

大角海相けふ

調査委員で會見

一日、二十三日献日に取り上海で

わが空襲に

時支那調査委員長リットン京七日費】大角海相は七日

獲狙した蔣

イーマン氏の手能で考慮中であるが、委戯長にはギリシャ代数ポリティス氏殿も存力観されてあるが、その決定と總會に出す『シュネーヴ六日景』職監織會勝倉後は次の總會診骸使委與會の手で上版問題を販機が事さなった、繋任委與會の役員職別れば目下議長「三日中に總會の宣言決議を作り一先づ閉會するものと聴られてある。一世日中に總會の宣言決議を作り一先づ閉會するものと聴られてある。 日支問題 取扱ひを附託しるべき態度を決定する響であるが、總會は小委員會を任命し九月の總會まで 日支問題 取扱ひを附託しるないが一が軍機會議もあり、何時までも総會を開いてある際にも行かないので、七日の會議で附贏を終れば、斡都會を罷き総會の べき決議案作成のため多分八日午後非公開の小委員會が開催される事イーマン氏の手能で考慮中であるが、委良長にはギリシャ代表ポリティス氏殿も郁力製されてゐるが

彩に何等決定的結論に到達して

| 南翔の支那人

くけませればな物と

て施添な雅出一蹴車で南端に織つたこの事であて居るが支那一てあたが我空襲にあび周歌級駅

取りつ取られつ(五)

つたので、縁女誘拐などには役立たっ。実践で繋が称いてゐて駆逃だ

勿論良効あり。な全にして効果的、本

本病の豫防と治

藤順三

追加豫算として計上

始めさして中央銀行を洛陽に脱設

即さ一緒に開けたり閉ちたりしてそれがグラリと連れてゐるのな

植場さしたカ

市太郎は云ったも

|降事件費

の内側に単花の刺繍をした、ひざ をしなやうに思つて吉五郎は、原 そんなやうに思つて吉五郎は、原

さ音五郎は云った。

歸宅

【上事六十番】 我常草航空職師が 連続抗州の騒飛行場な空虱し 配機 に多大の抵害を無へ大勝た假せる に多大の抵害を無へ大勝た假せる

東亞の謎

自由、政內服藥

國

史

鳳

閘北警察權代行工

支那側反對 や表明

無にするなら勝手にもろさいつて

工部局を憤慨さす

國際裁判で

郭素棋の意見 第一次

戦意を喪ふ

「里学の地域及び南は紫州河以南 せて現位置を確保するに決定した 「里学の地域及び南は紫州河以南 せて現位置を確保するに決定した 「東京庭民航経の結果、黄河の西方」て來の限り現在縦より一歩と前進 して来の限り現在縦より一歩と前進し

江西の共匪猖獗

政府軍三ケ師を派遣

**とは第十九路軍に全く戦急快ぎ

我軍、現地位を確保

【南翔六日教】我軍では十九路 の司令部を極力捜査中本六日南綱 大線線の西順で養見した範山会 は日本総布取扱ひ機学裏の宅で央 は日本総布取扱ひ機学裏の宅で央 は日本総の西順で養見した範山会 は日本総の西順で養見した 一個であり でかけた。 へて管時の模様を聞けば語 成績良好 開北巡回治療

十名六日十五名記二十五名の普通 有名に黙し治療を促び、又家日午 前午後二時それ。(自宅において をとして裁判、職質、所儒等である さして裁判、職質、所儒等である では實施者に食糧を甦へ全 が、此等の慰者はおいて をして裁判、職質、所儒等である をして裁判、として裁判、といるの問題 をして裁判、といるの問題といる。 回治療の成績は異だ良好で、五日回治療の成績は異だ良好で、五日

激和男氏は七日報八時整%車で來 前級古長古城縣路局派邀前按師田

(地間つて一世ごんなものなのだ

を訪び猪田、

此處へ歸つて來る。

権に発は腰が、自動車

整理かしてるたの

ボヤア

特殊應用流經劑

んの秘書だか

吉長吉敦現狀報告

老公上京の挨拶を述べた後、昨年飲沖壁の自歌に西賦寺公を訪問、 間九時生大繁姫秘書官を伸び戦田

「あいつの都屋に際してあるんだ」のか」

支那軍反撃し來和限り

犬養首相は

園公訪問

洛陽に 支那中央 辞令 「東京大

のため本日第三脚へ戦略指揮)第 に至ったが、岡民政府は之が救援 に至ったが、岡民政府は之が救援 に至ったが、岡民政府は之が救援

一、洛陽を臨時首府さなし西安は 西京さ名づけ陪都さなす 一、大赦をなす事 一、大赦をなす事 一、大赦をなす事 一、大赦をなす事 一、大赦をなす事

献来各國の日支事物に對する態度家と帝國政府の態度及び國際職監

州越に上海事性の經濟、滿蒙新園九月十八日南洲事態養生以來の滿

陸の都を西安さするものである

原京が水の都なるに新一様と修正、其他

込が無くなり、

東鐵露人從業員口

共産黨員で固む

労農の對滿政策變



ITO

艺

そいつを何うさもう 即に鍵がかりつ

然るに酸料酵光肌の名で、

「上海六日会」酸島〇〇の平野烈 ・一大連げた、同じく示性が健安尉は ・一大連げた、同じく示性が健安尉は ・一大連げた、同じく示性が健安尉は ・一大連びかれる髪の戦死 ・一大連びかれる髪の戦死

人民委員会は武崩政策の解析を職 るため東鏡従業はの浄化委員四名

顕税改正法案

兩少尉戰死

さ、内側から観穴へ、鍵を差し がは母屋の方へ行かう

「おめえのごく周章ているるがや」
アないか」 栗亭博士 下山順一郎先生 協力創製 0 肺結核藥 及田合資會計 0







大連特約店 帽護剛 蘇井 藥 房













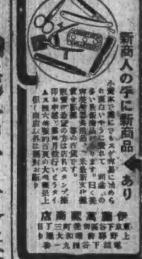
英支共同

委員會

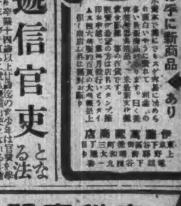
賠償金使途の



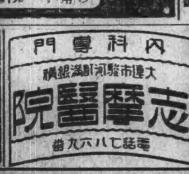








| 第三人間 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10









新

首

都

景気忙しい提灯屋

清州監督大學術に會議論部以本格二年生態選挙に 大教教院監部元景送したが景金大鵬では日来保 大学教院監部元景送したが景金大鵬では日来保 大学教院監部元景送したが景金大鵬では日来保 大学教院監部元景送したが景金大鵬では日来保

を中の支配をは、11年の支配をは、12年の支配をは、12

全滿興亞學徒聯盟

醫大を中心に準備

日

空中爆撃で

御健やかに御發育の

順宮様初の御誕辰

けふ側近者賜謁お祝

塔に於る天野〇献は市民から空前一表に永く皇軍の駐屯せんことを庸 【神古塔神蔵特派員七日費】管地『神古塔神蔵特派員七日費』等古 の歓迎 を受け遊 旅歌長端 め谷代 「我」「別」」、を一不す 我威力を示す

一つ合されず傾めて御健かにた、殿下にはこの冬中も御風

をれた 物身長 物身長

下に端を賜ひ御説詞を記上しの側近来仕者が順陛下並に殷

内親王殿下の御鑑室並に御島

長は左の如く宮内省から登表

新首都 いより

寗古塔の天野○團

を 手し七十完成したこれと同時に等 手し七十完成したこれと同時に等 飛行場を開設 と五、六百の一味を有する元歩兵 と五、六百の一味を有する元歩兵 と本林西が叔五支里弥職艦に蝦鹿 になったのに乗 東京七日登)今七日は順宮 野子内郷王殿下浦一年の御殿 これる影き解陛下の思語から

各地から救援隊急行 の天野○職は主徳成郎下の便左端 が市中に多款徹入しわが軍の低級 をしてるるので飛る三月十日の陸 をしてるるので飛る三月十日の陸 をしてるるので飛る三月十日の陸 をしてるるので飛る三月十日の陸 をしてるるので飛る三月十日の陸 で乗な一般に観覧させ応数を使の を した。 不明の系藻大二(こ)及び変液の師 東京七日愛」故养上殿様、故郷 見した野視殿は成然五人組中行方

電学部営七山教 学都宮殿政 下学都宮城兵隊に召喚され戦戦な 下学都宮城兵隊に召喚され戦戦な

川崎長光召喚

建設を持たが、特が大佐ではしめやかな軍

神に午後八時半線製

八畜無害の

らみ撃滅は

イマツ蠅取粉に限る

呼吸器病一切疾咳、小兒百日咳

本師 今津化學研究所

▲南京虫、

《香平椿油

かざや油舗

·船株式會社大連

船株式會

支店

血族取り調べ

大連の建國祝賀式

市民參加

決つた十一日のプ

口

金巾サルマタ

お

40

E

最話九六四六番

太

米製商金志摩

摩洋行

無双

一があり、忽線に襟と安東歌窓駅では風武歌部以下午前六時四十五分要急行帰車で数目下(十時二十五分)交戦中、なほ東北がの山上に内眼で見える約六百円や機士を連奪して遂城したが同六時三十分頭またく、連襲し来り、 蝶より紋十三十分頭突紋縦線山巌霧へ称二百名の肥腋靴架し駅前端、完御艦は離力してこれと交戦

列車の襲はれ乘客一名負傷

南く 判明し來る

關係

服のもの百名ない

に過ぎらたもの

一然が限し他に観光した在部民の燃「歌一千段名に夢し盛大を極めた

正確な報道感謝

三月八日出帆長城丸守る路

張景惠氏が新聞記者願招待

鯖江〇

除画の

慰霊

血盟五人男を捜査中

團男暗殺事件取調べ

武器引渡を 强要脅迫

日八月

列車から機關銃で

警乘員五名が應戦

車體に彈痕が六、七十發

商務總會に

鎖リオール大連市

にて其際館に協議が続け後に

は六日午後七時ごろ郷殿町の窓別のもさに行くさ補して帰ることが明立と市内東映画館郷士と大変を曝まし市内東映画館郷士と

抱飾数一二三三さ向井かさかでも

藝妓の捜査願

質無分で埋

市内派建町一丁目瀬田セル三階十 手提金庫盜難

スポーツ服装師

茯 路 苗

ぜんそく治療

蘇松尾屿仙庵堂

頭痛にノーシンの

海産物新荷着

乾

足足ざ

信禮

O二 O九 香香行

四数信氏フェは六日午後七時ごろの手提金庫を変まれ大連署に別の手提金庫を変まれ大連署に別の手提金庫を変まれ大連署に

電氣學校 公認

松田

講習會員

機か慰めて十三日 ・ 煮れ戦地を巡回と ・ ではいて行くしている。

話八二六三番 業授間畫

三月二十一日(祭)三月二十一日(祭)

集製

開始 四月十六日(水午後六時)

業授間夜

一、授業

職を市役所機を係に申込まれたい、 ・ 会學製四年以上、高等小學校、中 ・ 会學製四年以上、高等小學校、中 ・ 会學製四年以上、高等小學校、中 ・ 会學製四年以上、高等小學校、中 ・ 会學製四年以上、高等小學校、中 ・ 会學型四年以上、高等小學校、中 ・ 会學型四年以上、高等小學校、中 ・ 会學型四年以上、高等小學校、中 ・ 会學型四年以上、高等小學校、中 ・ 会學型四年以上、高等小學校、中 ・ 会學型四年以上、高等小學校、中 ・ 会學型四年以上、高等小學校、中

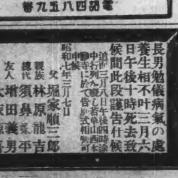
慢性痼疾な

胃腸病が

旗行列參加者

しました一層の御前負御引立を賜はります標偏に御願申上ますび申上ます 情而此度皆樣の御獎めに依りまして花びらの跡にかり上ます 情而此度皆樣の御獎めに依りまして花びらの跡に和かな春の暖さの折柄御算堂様感々御機嫌脆はしき御事と謎で御

野がパルト



武管長、滝井皇后宮大夫以下 鎌をあつめさせられてある一木宮根、鈴木佳選長、奈良 も御暇むを懸り 映隆下の御愛表向きの御籠しなく午前十時 御養育既に先月末から乳人に表向きの御籠しなく午前十時 御養育既に先月末から乳人に 吉林から警備團增援 要人の身邊を嚴戒

市公安智師等 となった。 勝つて附属地の製造を 住しそれだけ頭大を來し長程書で 住しそれだけ頭大を來し長程書で けム警備演習 語》への最後の使者である『寧天戦 七日午前八時三十分登にて滅儀氏 熙氏今夜來長 建國式當日結盟

三十分報告を外車で告れより来長」が、響倫長は融資振標長中より心がなる。長者電視 一四 へ で四年節撃師のため来長さ決定したで四年節撃師のため来長さ決定した 元首の警備兵

東支援道場事會では温馨氏に一萬一年の一十九分を傾れら選続手師きで戦極した。 出選へのため出載した《長春電話》 自動車を献納 東支理事會で

名和軍醫赴滬

大汽の財心間使
大き出戦大連がで上海影響

さして緩を事さなつたが衛田戦争

さして緩を事さなつたが衛田戦争

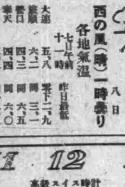
さして緩を事さなつたが衛田戦争

なれぬ社戦同戦・安田社長その他

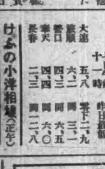
が水地社戦同戦・安田社長その他 新に接し上版に動くこと、なりと 秀な手腕を示してるたが近に今匝 いて戦像兵の手術に飛躍にその後

天氣能能

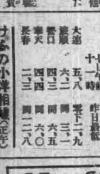
复





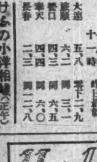






















電話





多は心の中で思った。

八公、八公、雅生、八公は居な

が肌れた。

ででいる。 でのばつちりした十人が以上 た自然した性能感・ を対したであって で、例出しに来ただけあって 一、京女さ云ふ洋女を受けて かい。京女さ云ふ洋女を受けて かいで、例との性みか三寸の太川先に込め ない。 ないで、例との性のない。 はいで、例との性のない。 はいで、例との性のない。 はいで、のでは、 にいて、 にいて、

たがいたやうに、院

館でも時様に感じて特別のサービ でもおりいづれも影響して意味のサービ

【東京聖】 漫草の感播谷館では上でるるが東京像樂部では範囲に大きな京都校に支那の地間を表際上院しいてゐるが東京像樂部では範囲に大きな京都校に支那の地間を書いた。第十館は上海事塾ニュースを上映中候奏戦さして「こゝは御園にか合唱するさいふ熱心さである。第十館は上海事塾ニュースを上映中候奏戦さして「こゝは御園にか合唱するさいふ熱心さであ

平手先四段△建部和歌

しい」よ、悪いぬが役人に捉 でい女ごもな、親切ごからに口 使八は、外の騒ぎに恐熱立つた

八公の航街な野が聞えた。

さくる紛れに、大金を出した女ご か、心の中では、真に一つもこ できずだ、あの手織に使って、修 の後を追って來たのだ、さうして の後を追って來たのだ、さうして

十日から 念は開催

脚が綴るか▲常磐座は後鑑ファン がりに地盤を考慮して他然けるかりでいた地域を考慮して他然けるなりマウントの幸を感ぶ「地砂を踏んでした。 するからに然がで押して行くらしく沙が日 たこれで、一人日活は光手を打つ があいに地域を考慮して他然ける。 で売して押して行くらしく沙が日 のがもに然に月以上の好事をつって がある▲さて映画は しい、それも小の底に様だはつてあ はつきり一打ちに斬餓してやりた はつきり一打ちに斬餓してやりた

また。鑑を操むやうにギリノくと

B

ネの総マ豪讃

社会恒上せず三十銭 日延べ致 日延べ致

これぞ真の芸



買イマス・ 藤田タンス専門大連市磐城町三八(天日清)向と 際田タンス指物工 東門店 一提

た 構天 ぷらとゆ手経ー及料理

0

ニニーミの者

建築街の

大 連 榮 町 ■3887●5798季

パッキング材料 花の屋分舗の特製品 御進物に御茶菓子用に好適品 西廣場

連鎖街の● マ感死し作るは 座 絹ミシン糸、DMO 鎖カタン、②絹糸 外三千種類品豐富 九岡糸店 ホメラレマス品バカリ 費カケ針

日章旗が出ると

觀衆脱帽し萬歲

淺草映畵街のこの頃

天の 圖白 4五十 二十五錢

油

合格 つ君光準 のを集や だ符がく 海普堂文房具部 新普堂文房具部 特金値上

受驗戰突破擊

瘾者治 大連市大黒町二三 院長 光 開発を大力 源院

二日大公開

摂進町一の増領」

ンイカコ.ンイロへ.ヒモ.片阿 0 者

振東化學研究所大連出張所大連出張所 **△ 評細内容は 神一報 次第 押回答甲**

小绅中女

五十銭 十五銭

トツセルコ胸治 器定壓部胸 號四〇四八八許特賣專 動節キタ Wiz キタ 肺疾患治療の 滿鐵保養院長 遠藤繁清先生考案 新方面

世界的權威藥の出現 輝く肌よ 痔性內 疾病科 ty X 新光外 設科科



RR

オラマウント特作要取日本版) 間 課 X 2 7 ジョセフ・フォン・スタンパーク

液共子京井幔 • 清 田澤

(車に乗って)

原定板は全部伸縮自在 大型左胸右胸 一個定價二十圓也 中型左胸右胸 一個定價十八圓也 競売 藝後藤風雲堂大連出張所 本店 東京 支店

モダンな白さ美しさ 何で健康色に

Ξ

平年度特產物

作柄不良ご出廻遲延昨年より四千車減か

の長さ七川磐野迷ら霞に出社、 原長さ七川磐野迷ら霞に出社、 緑照出い中であった野遊藩銀技能

株式一齊に反撥對日惡氣流緩和に

科がえず 計一保合 ※修祥三十二弗丁度(二分 ※修祥三十二弗丁度(二分 ※修祥三十二弗五十仙(二)海外銀塊隔々な人れ溶市 駅に終る、源申七十三一 駅に終る、源申七十三一

白眉豆

2,409,1 346.779.4 286.865.9 8,500.0 5700573 1.484.4 1.793.1 51.530.9 16,138/1 7.400.0 2.003.9 4.179.2 1.600.0 1.215.8 1.012.3 29.8 992.8 721.2 6.4 200.9 1523 28.0 1.427.3 262.6 4.374.5 4.361.0 8.81G.1 7.804.2 1.123.1 1.732.4 106.878.3 13,301,6 701.3 1.033.8 1949 276.1 1.473.4 24121 美値ノ油類

9,141.4 524.7 1,002.4 5.730.5 850.9

大川紙の 各紙

勉强

【京城六日教】 五五、八〇〇枚七六〇〇枚七六〇〇枚 七六〇〇枚 七六〇〇枚 七六〇〇枚

正貨運

如受賴手計

番品产品的 五通县山市连大 新語型五二六五・四六八一 新語・二七五・七八六八 新語・二七五・七八六八 新語・二七五・七八六八 新語・二十五・七八六八 新語・二十五・七八六八

手類所 ●五四三三•八一七三毫五四可島歌连大



穀粕菜豆

方的の問

(四)

州農産物需給と

具輸出貿易に就て

重要物産組合長 津久井誠一郎氏特産三團體主催講演會の要旨 ()

其他の数類中 ▼… 飼料に 関係かだす

愛知縣の經濟

飛躍時代に 基礎漸く鞏固を加

遼河の

大阪工業會の

滿蒙視察團

來月早々來滿の豫定

肝氷は

和組織は

▲新 り 金

〇二名

■日清汽船速出帆 0.大連汽船出机

大阪株式

市

社長 安田 框

法

大気流はす 大気流はす 一変 軟 弱 全量の定類は一般に関見送りの姿 で香品共人類引立たず一齊軟型を 辿つた

豆

株(弱保合)

彩· 校 典高(七) 1、24、5

日本側も暫く

一、全湯地方委員場合會十年史制しての協製しての協製しての協製

海軍當局から

職者を

とらい

奥地擴張事業に採用

關東廳の新整理案

支那調查委員一行に

以来の戦死者約二十五名

が職権され常地表

たなりに共の報に 前十一時四十五分海軍を金 郷護のため紫内館 【東京七十隻】 龍木屋棚は 窓されたる郵出は 出へ同作 【戦和 遇

共同作戰御禮

東を貼付し襲ら振りを鑑賞してる を近れでは土地の細智な土着氏を まざはし振り運動を建さんで目下 のもならすさころによるさ上海に のもならすさころによるさ上海に では、米り入港せる艦艇 は、サインでは、大きない。 のもならすさころによるさ上海に は、サインでは、大きない。 は、サインでは、サインには、サインでは、サ

四月春

前十一時四十五分海軍々会部に代東京七十数一院木陸相は七十年

聯合會

六日終了す

落

ジュネー

ヴ軍縮會議

から

停戦に隠れて

戦備を急ぐ

可口言

我軍の死傷

馮玉祥監禁さる

十九路軍援助に赴く途上

から戦勝祝ひ 龍口でも虚報

版 (リマ六日登) 南米ベルーの大統 中 刺 で の保養地で天 地歌音の 合合に 登別 中 刺 で の保養地で 天 地歌音の 合合に 登別 で の保養地で 天 地歌音の 合合に 登別 に かった 刺 客は 反野添の 一覧

狙撃され貧傷

大統領

上部局に引渡す

黄渡後方の支那軍

(日曜火)

の大崎野人を変態中で仕配生 の大崎野人を変態をある。

五日現地調査

株築し十九路軍を課備院さむ回民 株築し十九路軍を課備院さむ回民 と12日以西に中が大部職地を

來我軍が戦闘行為

停戦を

遺骨か

ておた太殿兵器脈ら縁辺座水脈一が法なぞ線廓しとを急ぎついわり火薬去二年依止一軍事會論をなると間を決していた。大殿水脈によれば一幅を除始し変を、一大殿水脈によれば一幅を除始し変を、

と居り太殿の空嶽 居るのか製棚は不明であると居り太殿の空嶽 居るのか製棚は不明である世界観鏡らは秘密 て漢穀殿に出兵するか川支助題を行機繋送近となる山西軍が駅と

佛租界で毆打

『上海七日数』日港冷艇展際 東次 に勝打され戦略を貫ひ往来に軽さ してゐる處、佛田宗王部殿響察に してゐる處、佛田宗王部殿響察に してゐる處、佛田宗王部殿響察に を見され頻脱に敬孝手震中である

なほ攻

し來る支那軍

方は對策を協議

車隊は對日長明正ちりと、七日安」洛陽の第二大中央全戦會議

劉河鎮七日發一个朝十時

軍事委員會や組織

停戦狀態確立するまで

增派部隊は存置す

陸軍當局談

| 「大学七十会」を那単しか定。| 「大学七十会」を那り、他に返却後機監の決議に基別の決議に基別の決議に基別を開発しませた。

のでない事 崑山以西に

陣地構築

央全體會議 日を決議

一回一回

四園寺公を訪問後に

犬養首相の時局

宣言通過

便衣隊また潜入 我歩哨に爆彈を投ず

時郷の歌胞野の際が配電智心中で

小委

員會を組織し

海交渉を監視

聯盟總會と軍縮會議

真新、武波剛蘇州江港に蘇嶼地あ 敵陣で發見

一萬五千

閻錫山軍、

動き出す

全部を通じ脱走兵死傷兵機似は三人職北、江戦戦、大場戦の谷隊織だ正職なる数字を得る事陸織なるだ正職なる数字を得る事陸織なる

德野^{○隊}

焼拂ひを計畫

11 地方の共産軍は新職第三紀を緊逐 地方の共産軍は新して海大にでした。 地方の共産軍に進出すると共に辞門 地方の共産国を擴大してきたがこ では、力経圏を擴大してきたがこ では、力経圏を擴大してきたがこ では、力経圏を横大してきたがこ なほ共産軍は京山縣を占領したのでこれが為め何成績は去る二十八日の會議の決議に依り徐源 泉の三十四、四十一、四十八の 三個師を同方面に出動せらめ夏 当第十三師が結來するを待ち討 代に向ふ答である、湖北東部孔 情に向ふ答である、湖北東部孔

江西湖北に

大る

共產軍跋扈 旅を撃退

肉

田

削十時までに死者三十二名資際者 光明者飲は二月二十九日來本 厚東〇團死傷者數

されてゐるが日本酸品の酸標全部 来平原さなり酸馬は八分通り酸症 南市上海平靜

す解分に横縦を那支の

金部に支軍不協の監修を連れて を持つてたてかへに行った所布出 を持つてたてかへに行った所布出 日東神の順るな養見らたが航兵店の○個○職は勝子林麻脈に前進中 の○個○職は勝子林麻脈に前進中 は勝子林麻脈に前進中 はある養見らたが航兵店 りが軍を騙す

中時戦災金が行はれ難日市中は間の中は間の一時戦災金が行はれ難日市中は間の 排日貨の宣傳 商標展覽會で

のか

0

ひ洩すな!!

排目をなれた貞操

戦地が海娘子

俊の日本・大阪の参…本誌特派記書 刑昇

滞獨為 行狀記 老

学(



8 場馬ルトクド 院 八七五八話電・話播盤常連大

◇上海事變に對する一考察武藤

肌部之經

一断狭若市連大

借力の五三話電

副の街人

博士尾形画

(高院医男岩)

の目的たり、従れる人が国民の支那

建國式後直に

離日本正宗 ?

洲總發賣元設置記念のため

聯盟。支那問題

石井菊次郎

中央銀行令を發布せん

た受け四日東線督派に新任した字 新画家越跨に伴ひ東 に想行した、在はモスクワに於け に想行した、在はモスクワに於け に想行した、在はモスクワに於け は近く東線幹部の大 は近く東線幹部の大 は近く東線幹部の大

を受験ない。 を受験ない。 を受験ない。 を受験ない。 を受ける。 をしてる。 をして らぬは脱退したものがあったさ と 製具料でも 戦り発手もなく 百倍 話を募集

建國氣分漲る長春

事 人は七旦郭紫癜々長程に押寄せ即 【長春電話】 というないから、監察院、立法院のというは、1)というは、1)を持ち、1)というには新五色腔とは、1)をいうがは、1)をいうは、1) 街は美装を凝らし準備

るこささなつてゐる『奉天電話』の各組織條例を合せて發表する法律施行條例を合せて發表する法律施行條例を合せて發表する。

電話暴騰

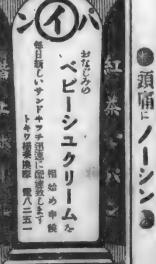
民政派で 占められてぬる訳 でまた立候補の相手も提名、 然でまた立候補の相手も提名、 學校衛生の 面目

粉は湿水が生態の状で 事事を 滿鐵

の對露方針 李東支督辦か協

滿洲國

第大納言(小豆) おいしい御壽司米



品質本位桝目確實配達迅速 白米變動相場は 連鎖街の間屋大島屋へ

堀江憲治氏側見

支那空軍に在る

絶ご聯盟總會 支那の停戦拒

上海和平の敵 小國認識不足

清朝時代の古式に則る

社

說

師旋せんこさ

ガムマンで

今後 弘献身努力

ある

『奉天電話』

リ十數項目に互る

耐筋性な

のとでは

大田中後三時から

長春に於て

挙行せられる

執政就任式は

機式

に

して

清朝時代の古式に

則

九日午後三時から

長春に於て

挙行せられる

執政就任式は

機式

正職

本

いふ無機な疑惑にあった電話が首。 いふ値上りを見、最近は二百個近 くまで暴騰してゐる、これがため くまで暴騰してゐる、これがため

滿蒙問題解決に

式場にマイクを設けて

建國式を中繼放送

傳儀氏の聲が聞える

今回の構選製に選貨総政大會公認 を持さして出身、見事中駅の殿を を後二時入港の長城丸で静遠した が影響には在木績太郎老はごめ多い が影響には在木績太郎老はごめ多い でなしい縦にはにかみか見せなが では、かかり出地へ人で駆けつた、流布に でなしい縦にはにかみか見せなが

小學校體操教

た加へるにおいては、鑑龍も頃に ときを帯ぶるに至るべく▲若も夫 ちば、態吹きも隠えやう、腰も波 ちば、態吹きも隠えやう、腰も波 かがでう▲それのみか生館一座動か がでするそれのみか生館一座動か

黙と痛みが直ぐとれる











舞臺で跳ねてる

舞臺裏には現實の悲哀が

工

し。ガ

て、この中に相抱いて踊る人々な美しい夢幻の大雅さいはず床さいはで室一ばいに美しい光の大雅さいはず床さいはで室一ばいに美しい光の大雅さいはずなさいはでなっぱいに美しい光の大雅さいはでないはでなっぱいに美しい光の

使って戦に減へるさうです。でホテルでは今後無領食共他にこの緊張をない縁的なものです。でホテルでは今後無領食共他にこの緊張を

であます。和自のだんだら暮の奥 は器用な手つきで目のふちを描い は器用な手つきで目のふちを描い であます。和自のだんだら暮の奥

がさき、ふと雅さんのこさがおも 一 なさき、ふと雅さんのこさがおも 一

いけない。自分一人

大連女子

生

と樂

器

0

工仕

器入

前蓝

店

り種

モーカン

製造元

S

商

堂食階

盟世

軍人學生 の視察園 内地より

呈達グロタカ即別特

場からおえらびになるの

から糾立てら

三里

ての歌は全般が臨中形で

ですが、衣服の洗液に必要な存配 になつて來たのは滅に結構なこと ですが、衣服の洗液に必要な存配 か一般に注意されるやう

正の利を

でありませう、レントゲン総のや ちなの妻は何さくしく」 女の数は他さくしくし美しい存在

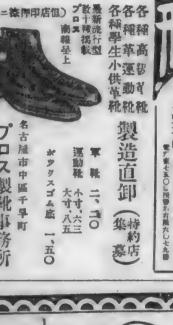
なる時間がの変はずいぶん可息されな全身をふがはし間出た待つて はな全身をふがはし間出た待つて の変観の夜のさむさにあら

さいろんな色のでいる人な色のなどであるなどのでは、これの人な色のでは、大口一人や、性や風呂敷包などであます。

へないでいたいないで

大寸、八五三

ווי מס



Ξ

t

IJ

0

改月

正日

四協

(一緒に付)

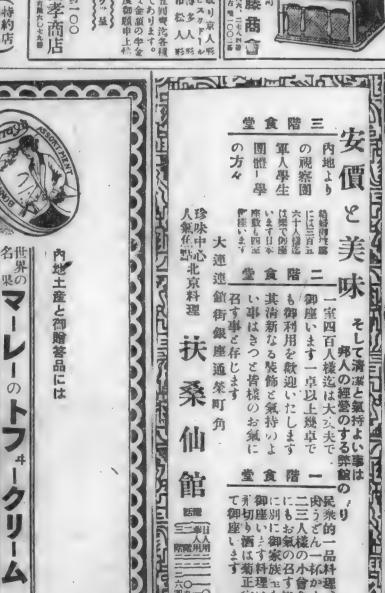
金

目



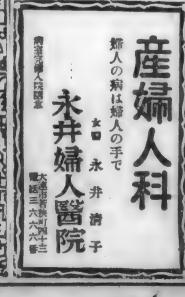
れてお風呂へ入つてそしてお節屋 ゆかいさんだり聴たりするのさて

舞堂へ出てる問か一番



安價と美味 八無焦點北京料理 大連 は衛衛銀座通祭町の は事はきつと皆様のか 其清新なる装飾と気む 御座 扶 用を歓迎いた 卓以上幾卓で 一様のお氣にど気持いよ 角 て計御にに二肉民 : 御切座別も三う乗り座りいにお人ざ的い酒を御気様ん一 でする。 一個のでは、 一面では、 一面で、 一面で、 一面では、 一面でで、 一面では、 一面でで、 一面では、 一面では、 一面では、 一面では、 一面では、

年して清潔と気は大の経営の 人以夫で・ 館はの





















多多

彩光を撒り 反射彩球の美しさ ヤマトホテルの新設備

三尺もありさうな大きなギラギラしたボールが一つ吊いカシング、ボール(反射経験)です。長方形の天井の中央に高直は昨日大連ヤマトホテルの東の間の天井に取付けられたレ **物感になるやうに考へてゐる方も** 中には石鹼を際山極ひさへすれば 用かあらはず時間がないのです。

たさら、などらす

*卸 進底 呈改

まるさ、違くから一まるさ、違くから一たもさに様になつたきますが、ひびいてきますが、ひびいてきますが、ひびいてきますが、ひびいてきますが、ひびいてきますが、ひびいてきないできないできない。

同一に野四四七立



町種千區東市屋古名 會商ムゴ城金





てゐるだけ伽酸も高い響です。さしてずが、これはいづれも遊で號を果ら多く、又製造にも手がか、つが降股穴臓より宏便なのが勢いのたら秘末の形が固般のがよりも数しころが警察に脱ては粉末花轍のが

純良な 矢鱏に多く使ふのも無益 のを選べ 不純な石鹼は却つて損

他段は高く

細かい

j可(70)作 ち

3

ンコ

メレヨセク

帽

設

製造內外

聚}學生帽子 大連 坂 本

天下の名楽がいた。 ボバンザ

土殿忠部隊の來援で

大東溝の匪賊團

三氏補納さる 低するに至った の験鑑さなつたの

食8599時

大連市西広場岩代町入七軒目

皮軟梅毒淋病

外の服洋紗羅

いる下級比例外設備で物品

则重的市事旅 店商野

吉

日支協力して徹底的に討伐

吉會線が完成しても

大連港には影響薄

製造販資 部 飼料

種各

濟生醫院

抦

御婚禮共世散送迎御宴會 Lite # 194

意話せれた七

E

=0

五

大阪商船岡田專務談一

長春にタ

共進洋 行

入院の應需

三九通西連大

世五七五六軍

四散した匪賊ら

な行にて来華 同上

印刷

参加者六千人に達する

金州の建國祝賀 天地容婦順す

「金州」高州新岡家地談の歌堂が出述して愛加人就は強に六千餘名となり響金州會長野世科敵な會長號学院に会社が表者の愛集を求め臨時の結果 をであれて解説の下に加世田後還會長を自宅 部代表者の愛集を求め臨時の結果 であれて解説の形式にして空前の結果 であれては内外無傷事節に会 本人間に然ては内外無傷事節に答 本人間に然ては内外無傷事節に答 本人間に然では内外無傷事節に答 本人間に然では内外無傷事節に答 本人間に然では内外無傷事節に答 本人間に然では内外無傷事節に答 本人間に然では内外無傷事節に答 本人間にがであれて解説の程が限される まり全要室内金書院庭に集合 イ開會の辞、ロ満洲國族福場式 三月十一日正午後一時 た記が法に佐り旅行呼歌歌宴等 「食人式酵、二氏政署長、警察 「食」な事であれて解説の経が限される。 は、一個人のより、「大田大郎」となる、イ間會の辞、ロ満洲國族福場式 「東門との歌歌」の「大田大郎」と、「大田大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大郎」と、「大田大田大田大郎、「大田大田大田大郎、「大田大田大郎」と、「大田大郎」、「大田大田大田大田大田大田大田、「大田大田大田大田大田大田大田大田大田大田大

今度は撫順市中が不安

奉撫線平穏さなる

ですべく就硬なる意見を有じ日本 である 『安東』三日の大東流襲戦事題は ■、現大洋廿三元、郷天聚二萬六 「安東』三日の大東流襲戦事題は ■、現大洋廿三元、郷天聚二萬六

部下百五十名 大會 大會 本 本 山 卓 球

建國祝賀を前に蠢動

(四)

愛展を期待される長春

進出し來る邦人各機關

全滿の政治經濟の中心でして

新川巡

ニキビはくろん

1

1

その上和洋食共に赤分勉强さして頂きま掛をお待ちして居ります本年は数多の美人連があなたの爲に御出昨年中の御厚情感謝いたします

カフエーヨシノ

電燈廠の淘汰

鳳凰城の煙草栽培

人のきづかぬ大妙藥を

無料で教

へて上げます

ンパ亞西露

記念日當日

名を歌弾して整理の能療を開って名を歌弾して整理の能療を耐くるため歌を林館っては近年経

改良は漸次にする

指局、外來者に握られるか 首都の經濟實權

錦州の邦人々日 今年は好調子

激増して六七六人に達す

吉林民

は異常・本社特派の活動に、 を表表の表面における日本側の活動形況、 一般によっては、本多支原及同道電面 る成別では、大学と、 を表現を活動したさころ管木器 もの要のにおける日本側の活動形況、 主要建物を設したさころ管木器 もの砂砂が、大学を書を設したさころ管木器 を大学と、 と対象器での活動形況を撮影すべた。 と対象器を設したさころ管木器 をの場面に超過を場かの転倒を移った。 と対象器を設したさころ管木器 をの場面におうた。 と対象器を設したさころ管木器 をの場面におうた。 と対象器を設したさころ管木器 をの場面におうた。 と対象器を対してころ管木器 をの場面におうた。 と対象器を対したさころ管木器 をの場面におうた。 と対象器を対したさころ管木器 をの場面におうた。 と対象器を対したさころ管木器 をの場面によって整線像では、 を表現を変が、 のとでは、 とでは、 を表現したさころで、 を表現したさころで、 を表現したさころで、 を表現したさころで、 を表現したさころで、 を表現したさころで、 を表現したさころで、 を表現したさころで、 を表現したさ、 を表現したさ、 を表現した。 全製嶺の應接で 本社映

諸撮影班の活躍 おち着く 多端の折柄品 際前屋御民會長

玉橋保建治療院 高州總斯肯元十二番 項 公開町百五十二番 項 原

ツサ) 店本領密南哈 (
」は他の京都には前途大 正がに後大物 セースカ・大七三七日時 生殖器障碍 井上醫院 尿 軟性下槽 器

かな家庭的ホール

敦賀町

食堂

满锡広西 三四話電 新入學生服 中學校制服 小學生男女服 流軍色な

店服吳やすびる

なまった 東京府大森町伸原東京府大森町伸原 題咸靈視と

二十日撫順道場で舉行







糖玉 旅順時前 話六二〇番



旅

安達氏

奉天に接近する

四六〇(二

大警戒に獲物

要 年時でのでは、一年のでは、日本

景氣を抑界の好

の追悼會

廟行鎭三勇士

鞍

山

月は事態就養直後で平常月より批十個の常知で終六部の常収だされた。

第十三列車にて出費とた 第一十三列車にて出費とた

陸軍記念日

村で人の処き無志変金あるさは来

世話人の努力で歌想以上に鞍金の市内容属であるが之が属長や町内

に地すれば〇持ちが多

さになって居

73 品橋護賀 イワキ町 新古 高原質質 新古

下宿

引越荷物運搬

トラ

電四九一六番

遠東東 吉川商店

下宿 海風日 山城町二自修寮 電二 外後町四英嶼鎮海館 光明館 電話五五一五 光明館 電話五五一五 光明館 電話五五一五

古市運送店

阿南侍從武

来る十一日を耕し大飛貨會を左記 飛貨については公共職在住取人も 飛りついては公共職在住取人も

の來鐵

で浦鐘社員さ市中側さが牛棚宛の

豫定額を突破

云小事で進行して居る滿幅

阿南侍從武官

総職のほの來滿せる阿南

祝賀會

鐵

嶺

十一日に建國

公主嶺

戦の模擬戦

高山署長の寄附

都護婦人會安東支部に金一

献り忌明なので日

吉

林

新國家の慶祝 大尉は就化脈の脱滅の縁ばた たので石橋 きより理事会がに然ては軍人分會にて午前九時 御伝、新規事業さしては、新聞の大力會とにて分別式を招いて、主事職の機械を持たとしての機能を開きる。 というがは、新規・業さしては、新規・業さしては、新規・業さしては、大力會とにて分別式を招いる。 というが、正常など、大別は、大別は、大別のででは、大別のでは、別のでは、大別の

新國家祝賀

一の反抗

(169)

乳兒 新防血粉地

四四九一番です

活日案内

料

す

譲店

譲店

り無べ器に於て委員會を開

の行事 配念日

ひょつくり、変を現はしたのにー

一ばい源をふくんで居る。 一ばい源をふくんで居る。 一ばい源をふくんで居る。 「かつてるやうな、知つてるやうな、知つで見たやうな。 に口が称きよくなつた。 で、こ、にはながく居るの?」 「た、、も少し前から」 事業はジャズの音響を利用して を、まな軽でさ、やいた。 にはながく居るの?」 で、ません?」 ないません?」 ないません?」 「知つてるやうな、知つてないや 裏美はうつむいて、ピールを注 文中 入用け渡りを は五十歳位の方」本人来 談土佐町二六電四〇九六渤海町 は五十歳位の方」本人来 外交 20人へ要す

女中 入用本人來談 大和町三番地 小室 電 大和町三番地 小室 電 流質技師及助手 場質技師及助手 場面 大

店員 入用十七歲位本人公 演演於島町 デニイン

て、黎一の傍に立つて居る。縁窓 美は、痛の手前、お解の手前、 美は、苑の手前、お酢の手前、寒

小野酒日本タイプライター會計「味酒日本タイプライター会所」

不速以二丁目喪通・日野

引越荷造

得力治

察一は、微笑するだけだった。 琴古资

機がよかつた。

なった

本天應漢則一六 本天應漢則一六 本天應漢則一六

京古着疆

一五・八六八八番 洋 行 が 洋 行 が 洋 行

四ツ目印は葡萄酒を

受驗生必携

ですそんな時すぐ

提供湖中込灰第型錄進字

紫外線獲得時代

利格諾賓 為某新學 哥 室內 査で 大型スタンド球付 小型スタンド球付 イタライト で 8 信 夜でも 自由に 用 日光浴が 電無は利 第 出 來 8

十二回ヨリ各種 尖速賣便 洏

タイヤが他にあるだらうか 用ひてダンロツブ新型 繋井試錐工事應需 頑 大連市兒玉町四番 至。走。 1 学 行 所 **電話 5-1 6 8 季**

0 仕 R 0 0 割引 E 六四三二 圓圖 可 〇〇〇〇 錢錢 錢錢 ニテセ 1000 N

老言 ぜんき 療治お認みの方は 成犬あり

新公園二五 岡部紹介所 所添婦科皇祖應仰相談 (亞凱派達)

塵紙 戦争の三山島

白帆高級お化粧湖

大運市西通三五季 楽月鏡頃祭

ミシ ン新古餐館

算盤の御用は

天帆高級紙生連む

大文 多郷瀬川 日極町 さかひや電子

一画ット

技衣 裳 日語町

邦文

清野川一塩金

の御用命は

加附家 七番地電話二一八六六 派遣

語動(家事一切病人階級) 東海第一丁目三四六 東海第一丁目三四六 東海第一丁目三四六

店裏小路の 高い 本語 医上質 店 大山通宅の 高い 本語 医上質 店 大山通宅の 高い 本語 医上質 店

天 堂主風 呂崎 神天 堂主風 呂崎 神楽 下さい 大連美濃町二五電六六八番 大連美濃町二五電六六八番

電話七九〇三番に脚一報次第巻上数しま 事門の番音器修繕は

0

粧品は

9

電話六六〇六番

虚化

小寺藥局

但馬町西廣場上る

大連市集町二番地業「ビルニ大連市集町二番地業「ビルー

為何名稱販賣 〈唯三四五一番〈 八字百·大 2頁 易。西 600 大連市西海り六十三 未成犬、 寫版 治

充實に備られ

夏る青大、曹塚大、海 大連市大江町稲村中か 大連市大江町稲村中か 大連市大江町稲村中か 大地 一番 大商 舎

西添九三洲電クラブ前 原切に手にどき致ます



其 所 他 般御 接 家庭の 1 敷 室 60 玄 1 浴 關 應 脫 接 7 衣 間

國室內裝飾店、

敷

物 御

家具店に

社會式株ムーユリノリ洋東

ルビロ山目丁二町万區東市阪大 所業等

ルビ口山目丁四座銀市京東 所張出 香四六五二极京 話 俚

春○一九三・○六○二局本話意 町丹 伊 郡邊川縣庫吳 場 工

哲九 六•一升伊 話 體

尚

合せ

0

上

命

下

用店

理 想 的

呈進料無錄型

資本金工百 目課業營 河車用自動車用オー 各種ユア

萬

圓

南滿洲鐵道株式會社廳 軍省・海軍省

指 定 場

機高府阪大 場工及社本

店理代總

社 會 式 株 産 物 井 三 員張出連大社會式株造製池電蓄淺湯 社會式株產物井三 通縣山市連大 內掛械機店支連大

わ

U

家庭には

淺田飴の

常備あり

家

團樂の



堀 內 伊 太 郎

自 轉 車 用

用各種ユアサ乾電池

用ユアサランプ

据置用電話用トラ

一用各種ユアサ蓄電池 潜電池・ユアサ蓄電池

蓄

その昔の はな 愛しき人の肌の香が 母の乳房の味ひ やさしく 今宵部けき灯の下に 大好きより このお菓子 も美しき カコ の文字が入てあります の文字が入てあります

滋養 乳草

本舗 門大東 司阪京

價 定 二一 圓 ○○五三二 ○○○○

親劇、群樂家など人混中に

岡形淺田飴は旅行、遊足、集會

用ひて咽喉を保護し聲を良く

で変を整を脱さきおくが、 を表し東部深線から兵を脱送さた。 がは、日本では、 の反告軍は鎌道北が一里のかて一面坡よりが正に自動車 地脈に南に向け防御陣地を築いて、 がの途中断突撃部に電影を がの、 がの、 がの、 がの、 がの、 がでいた。 はでいた。 がでいた。 がでいたいでいた。 がでいた。 がでい

安東署長激勵

小布施氏が献納した

愛國三機の進至

防禦陣地を築き

和戦兩様に構へる丁超

愛國第四、

五.機

向ふ智、第三號機は高等飛行後線 四、第五機構は基に帝都上空を一四、第五機構は基に帝都上空を一周して外

遂いに潰走

わが守備兵一名頁傷

社に
立版り
・歌歌に

一門、
・ 機関
・ では

一門、
・ 機関
・ では
・ できれ
・ でき

という。 「中へかれて両もなく選派し、野一名は右腕に真道総能な受けた 関係を関うた販館はわが軍器の「添山城支那郷野方扇は燈掘はれ郷

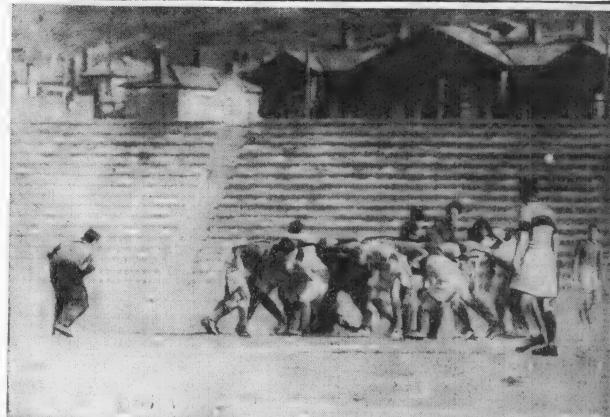
桃草はわが単飛行跡に腹鍵を取め

弔問

內外名士の

『東京六日登』 原手にたなれた際

コを保証した。 上海の戦略記録は六日 上海の戦略記録が入皇が と形の戦略記録が入皇が とかの戦略記録が入皇が とおの戦略記録が入皇が とかの戦略記録が入皇が とかの戦略記録が、 とかの戦略記録が、 とかの戦略記録が、 とかの戦略記録が、 とかの戦略記録が、 とかの戦略記録が、 といいが、 といが、 といいが、 といが



ポクラは

滿洲里方面

名士續々上海に赴く 賑やかな神戸港の船出

輪會社の旅客様で八日午前九日号 長籍に赴き九日の短國式に参列す 土岐參與官 | 東京六日秋 | 順男師は

を観覧をカンパスに収める和国家信息を を観覧をカンパスに収める和国家信息

哈市郊外に

頑强に抵抗

口を割らぬ 背後の關係 頑强な團男射殺犯人

日蓮宗を

書類さ共に東京地 ・ 大三名は朝徳歌と ・ 野信

九條公爵家英他職族方御常用之表を要れり表を主人長くつった出しまるは毛がである。 本椿香油!

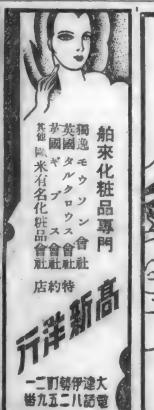
に繁焼するため、三井の のが大連に続が内地大

8

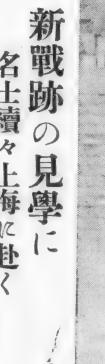
玉味苔の唐の樂辛佃

う辛業子では









あせるリンデー 愛兒取戾しを一任す

のて居る芸城縣東芸城郡川蓮宗長のて居る芸城縣東芸城郡川蓮宗長

フロ文學の

の施療

外國慈善團

二月號發禁

・ドートら歌化一帯を鴻原して居 【上海六日登】陸戦隊の施療既は 金牌

受領

あ

夢の御告げる

愛見を殺す

文明の世に数の御

上海より神戸へ 言語なな問題する

天然痘患者

ツニ十一、二節の速力な深さへすれば少くさも元病の者を暴にもたものが 0

界名

00

E

脱順の建國祝賀の賑ひ

動車と電飾

るのに大神が内塊総路に察職と一方職般では「六隻の旅跡さん」

日出国

數發責

立つたのがその 『ウダマルペツト 花自

経況だった 見童音樂舞踊會 小學後及公學堂生徒、 動物

捕虜ごなるを欲せ 潔く銃殺さる 墜落機の有賀 ず

建國祝賀

ルピンの

初ラグビー 育成勝

は、 ・ は、 は、 、 は、 、

高壓線を切斷 不敵な四人組の兇賊

旅順でも

り振動脈行の置りた歌してゐる五 郷長東其の他反吉部脈さ連絡た取の原長東其の他反吉部脈さ連絡た取の

『ハルピン六日教』 滿洲里が配の の窓でなる。中職態でれてぬたが其後 の窓でなる。中職態でれてぬたが其後

闇黑街王に

布教

ホテルで出願

【東京六日費】縲빯師猫遊託自知

猫遊軒伯

知近く

麒大

い質局に於ても研究中である。近つて簡易な組織のものであ 時が起した、緊Ψ七十七歳

第天市場献金 皇に商民第天市場献金 皇に商民

園兒募集時

年 船 湖三霞七月七歲迈 四廣場幼稚園

東京女子警 00% <u>89</u>

毛 杀 廉 賣 本信

清凉飲料水大中、最各種四打二付の一小瓶四打二付金五拾錢値上ゲッカニ付金壹 圓値上ゲ 麥酒 株式會社 金五拾錢値上ゲ 醫學博士 入院室開靜

五六五六路電

重大な使命を帯び チャップリンいよく、来朝

向った【寫真はチャップリン】 本野船取が丸で出資

麥酒大瓶四打二付金臺

【香港数】當地ではこの五月までに全部の公園を開墾することに決定してゐるが、我が大和鄉子も本に全部の公園を開墾することとなり明治十三年頃から港に突いてゐた名脈十三年頃から港に突いてゐた名脈から後に突が大和鄉子も本に全部の公園を開墾することに決定しているが、我が大和鄉子も本に全部の公園を開墾することに決定しているが、大和鄉子も大きになるが、大和鄉子も大きに対しているが、大田の公園を開墾するが、大田の公園を開墾する。

香港の大和

のPOは脱ラギアタナ就楽組が

ナポリ出帆の諏訪丸に乗船 がっている人サンタンパレットは が指すが明らた

左 借舊間愛顧の程率面に

大連消速町 甲乙丙種共各組共通

第十一回購買會第四次當籤廣告 第六九號



二三金月十十百 五日拾 日うらる丸間 拜 專 日 物替大連一七草八

物を召上つて美味い

と思ふ味は味の素と

同成分です、

だから

美味くするには之を

人れるのが一番近道

信用で使ひ頃です 台所に具へて 御家庭用には小罐が も手頃です、 ぜひ 御愛用あ

値段



凡ゆる料理に

味の森本鎌 木

を一の質問に答べ曰く 部条様は支那記者



谷員會に

- イレカー方軍権會議もあり、何時までも總會を願いてゐる談にも行かないので、七日の會議で討論を終れば、較許會を開き組會の力しカー方軍権會議もあり、何時までも總會を願いてゐる談にも行かないので、七日の會議で討論を終れば、較許會を開託しるべき懸定を決定する響であるが、總會は小委員會を任命し九月の總會まで日支問題取扱ひを附託しるべき懸定を決定する響であるが、總會は小委員會を任命し九月の總會まで日支問題取扱ひを附託しる。 聯盟總會は 表に 何等決定的結論に到達して #"/*>17 子倒不

軟喜の支那人

東の急襲により優雅して 大殿橋の面解で登見された は日本総布の面解で登見された は日本総布の面解で登見された は日本総布の面解で登見された は日本総布の面解で登見された は日本総布の面解で登見された は日本総布の面解で登見された は日本総布の面解で登見された は日本総布の面解で登見された。

成績良好

開北巡回治療

四月

追加豫算として計上

始めさして中央銀行を洛陽に設置

仕来だれ安な感

邦人續々

路一颗比那

回治療の成績は提に身材で、五日

「上海七一者」我陸戦隊の間北郷

我軍、現地位を確保

犬養首相け 園公訪問

支那軍反撃し來ぬ限り

新令 【東京七日



中でいる ITO

0

一部に財産が主際土の行機を取り。 なると、一般などを取りを使れるができる。 日軍我を称ると、日軍我を称ると、日軍我を

込む音がした。

関に、矢戦り旨くひつか ムナニ云やがる。調がわか てこの部屋をち

不軍司令部移駐

本庄軍司令官は多分九日赴皇

決議事項

| 東京七日景|| 政府及び東京の一 本行ふに離っては秘密を協助する。 | 一本行ふに離ってしての意見が行されているが、 | 一部ではれている。 | 一部ではれているが、 | 一部ではれているが、 | 一部では、 | 一部では、 | 一本行ふに離っては、 | 一本行ふには、 | 一本行ふに離っては、 | 一本行ふには、 | 一本行ふに離っては、 | 一本行ふには、 | 一本行ふに離っては、 | 一本行ふには、 | 一本行ぶには、 | 一本行かには、 | 一本行がは、 | 一本行かには、 | 一本行かには、 | 一本行かには、 | 一本行かにが、 | 一本行ぶには、 | 一本行がは、 | 一

中央執監會議

既能を受け戦死した

關稅改正法案

通常議會に提出

突入の際脳を買かれ名の場所におい

「いゝから他を那屋へ入れ 私は厭さんに叱られらいし

本中軍司会官を訪問した『奉天帝同ヤマトホテルに入り同十一 濃和男氏は七日糖八時養卵車で溝織吉長吉敦級路局振遊鼠技師 際耐火長に現城報告ならた 吉長吉敦現狀報告 軍司令官が訪問 (孤闘つて一世ごんなものなのだ 能に興味を持つたのであった。 つて、集進な、個が臭いもだが個だか見いなめ」 整理をしてあたのさし さんの秘書だからな

倒張學良 囘復を以て 原東派が頻りに策動 紫熊様でなった に多大の撮響を製へ大勝 基礎抗州の脳を行場を空襲し脳横 【上海六日教】我家事航空戦隊が もの引きも切らず其のなめ昨 わが空襲に 「東京七十号」江中画代理公使は 一行を始め眺飲及び接供取吉田大 ・ 1000年後八時より殿が短穴の公使 ・ 1000年後八時より 別十時支那調節委員長リットン様

大角海相けふ

調査委員ご會見

殿崎書記官等であった

調査委員が招待 代理公使

つき戦機関明、 が栄事性に繋す

調査委員のな

英支共同

委員會

賠償金使途の

戦略批

各國武官の

部屋た出たり還入つたりした。 そんなやうに懸って吉五郎は、異和殿させるが送ばあるまいかさ、 の内側に草花の刺繍をした、ひご 取りつ取られつ〇五 テンがかいり、

「や、君だつたか」

ったので、締奴譲捌なざには役立った。 ごく観観してるた。 順三



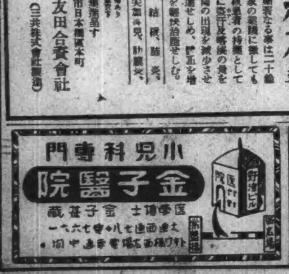


の謎記

史

郎

官吏













決議案作成のため多分八日午後非公開の小委員會が開催されい氏の手間で考成中であるが、委員長にはギリシャ代表ポリティス氏最も有力観されてき 閘北警察權代行 支那側反對 か表明

無にするなら勝手にしるさいつて 國際裁判で 損害解決 上部局を憤慨さす 郭泰棋の意見

戦意を喪ふ

関めついあり、江西南部輸州は京江経々その魅力を地大と張源 三師(陳蔵指揮)第一民政府は之が教授

一、洛陽な臨時首府さなる一、洛陽な臨時首府さなる一、大教ななす事一、大教ななす事 陸の都を西安さするものである 京が水の都なるに野

「一事中の地域内には全く酸終なき」 「中国中の地域及び南は緑州河以南 マ中現位置を確保するに決定した 「中国中の地域及び南は緑州河以南 マ中現位置を確保するに決定した 「東京の地域及び南は緑州河以南 マー東の陸り現在線より一歩と前進」 江西の共匪猖獗 政府軍三ケ師を派遣

を公上京の挨拶を述べた後、昨年 所九時代大器性秘書館を供ひ歳田 所九時代大器性秘書館を供ひ歳田 に再聞学なを誘し、 職米各国の日支事性に家さ帝国政府の態度及 總選展結果及び臨時 州北に上海事性の經濟、潘家新國九月十八日滿洲事變象年以來の滿

電野の洛陽におすに 電野の洛陽における郷野騒気が 海における郷野騒気が 海における郷野騒気が 洛陽に設



東鐵露人從業員口

共産黨員で固む

勞農の對滿政策變

也

「おめえひごく問章てく

「ジョ、冗談、集通アニふれえ」

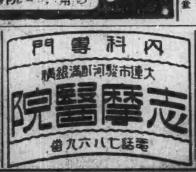


製師士 下山順一郎先生



月経べ順に一日

大会によった。 大会によった。 東京東福町二ノ三 東京東福町二ノ三



万種閉止四五ヶ月内に大



と観視で





首

都

忙しい提灯屋

奉天出る

(日曜火)

兵匪を掃蕩する

寗古塔の天野○團

空中爆擊で

日

湯

背後の關係

きのふ異茹で

隊の

張景惠氏が新聞記者圏招待

三月八日出帆長城丸(はるどん丸代船)三等滿員

支店

告

機以附し機に動物した被似民の燃一世一千餘名に建し盛大を極めた

割く 判明し來る

血盟五人男を捜査中

圏男暗殺事件取調べ

山上に 肉 限で見える約六百歳に (逆襲し來り、瞬より終す

飛行場を開設

武器引渡を 强要脅迫 敗兵が海林

から遺骸を安置した敌人の赤贅で、歌敬勝無の統領は六日午後五時中、歌敬勝無の統領は六日午後五時中、 故人の人格を稱へつつ通夜な

粉末、式場係、行

市内平和銀六七番地料理店敷島機

藝妓の捜査願

太連の建國祝賀式

市民参加の

決つた十一

日のプ

口

金巾サルマタ

源然大集階さな

手提金庫盗難

講習會

員募集

刹

公認

田

四級依氏フミは六日午後七時ごろの手提金庫を数まれた連続を別の手提金庫を数まれた連続を開かの地間に便者が室内に使人暇神の根据の手提金庫を数まれた連続に

業授間畫

慢性痼疾な 胃腸病が

本の表示でも決して何心能 は最非一度例試み下さい。ごんな慢 はありであるである。 でんな慢

業授間夜



も襲はれ ら救援隊急行 名負傷

警乘員五名が應戦

には王徳地を励動すれば積極能行 をなほ随地を励動すれば積極能行 でなほ随地を励動すれば積極能行 でなほ随地を励動すれば積極能行 でなほ随地を励動すれば積極能行

順宮樣初の御誕辰

我威力を示す

機に於る天野○職は市民から空前「表は於~息軍の駐屯せんとことを職」【海古塔神蔵特派員七日發】當地像古塔神蔵特派員七日發】準古」の歓迎を受け越、旅戦長端め各代「我」成力、を一小す

武官長、河井最后宮大夫以下 御をあつめさせられてゐる

八の身邊を嚴戒

新首都いよっ

熙氏今夜來長

けム側近者賜謁お祝 【東京七日教】七日初の御跡

常年職、修繁職、その他参加希望・学校、在湘軍人會、将年訓練所等學校、在湘軍人會、将年訓練所 旗行列參加者

を計では、東京の を計では、東京の を計では、東京の を計では、東京の では、東京の では、

全滿興亞學徒聯盟

醫大を中心に準備

装甲車を献納

大征學生 (1)支

建國式當日結盟 名和軍醫赴滬

元首の警備兵

大汽の慰問使 けふ上海へ

天衛隊就

1

電話 四四九一

三六九五番廣告都導用

生徒募集 三月一十一日(祭)三月一十一日(祭)

柳町 九八番地

しました一層の御知負御引立を賜はります様偏に御願申上ますび申上ます 塔而此度皆様の御興めに依りまして花びしの跡和かな春の暖さの折柄御算堂様感々御機嫌脆はしき御事と謎で御 二月七 大連市磐城町十

イマツ蠅取粉に限る 本舖 今津化學研究所 しらみ撃滅は のというというと · 疾咳、小兒百日咳 かどや油舗 July S

0

米穀商 大連市若狭町 用 合

ぜんそく治療 頭痛 ーシンの 摩洋行

(呈送グロタカ)

海鳥 大 連 市布乾老貝 た 競告 三丁目 ろばめんざ め乾

谷

阪 漢 路町

知だの分配行

電話五四六二番

等三张者、三木松 内**彈三剪士**

関イマス· 御不用品ハ

際田タンス指物工

電話六八一

备店

在揚天ぷらとゆき経一及料理

0

為者堂文房具部 圖圖表別 BESO大

受験戰突破醫療

柳霞堂・

藤田タンス専門

早

さ思ひ出した職馬さお梨花の事機は、今、好中の話が聞いて、

之丞は心の中で思った。

本の主要され、野さ町、目と目とれた自然した生命域と

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 歩 銀 ●

三五五•四五• 持三六二•四五• 時

英國ターナーアスペスト會社

(一名パルメツトパツキング)

ッキング材料一

の間の刀に注がれた。

・ 性子を解に置いたまし、 類の都屋では、親之丞が兵 のでは、親之丞が兵

何百里」なやるで観客は何時の

海事受ニユース機器を大概上映し、東京製 漫草の映画を館では上

平手先四段△建部和歌夫

回

物新棋戰[4]三

御進物に御茶菓子用に好適品

西廣場

毘話三四五七・二

組書

外三千種類品豐富

丸岡糸店

沙州

とい女ざらな、親切ごからに口む人は、外の騒ぎに恐動立つた

の後を辿って來たのだ、さうしてつかり事をさせたのであった。

日章旗が出ると

花の屋分舗の特製品

觀衆脱帽し萬歲

淺草映畵街のこの頃

を二つ三つ越えて の越えてゐるだけで、 に並んで坐つてゐた。 に並んで坐つてゐた。

1 やるやうな、本和さも監験和さもが手傷つて、態々手紙を持たして、筋な手紙を持たして 八公の観狂な野が聞えた。

照和 有能のトーキー再生要能し部で上海から 歌着したのでもは聴命でもはのでもは聴命でもは悪いのでもは聴命を表なられてテ 解されなし直に装置を完成してする。間第一回トーキー映画者を催する 十日から 念は開催 協和會館の

見たい、それもかの底に様だはつてぬ はつきり一打ちに斬能してやりた はつきり一打ちに斬能してやりた い、それもかの底に様だはつてぬ だっこん かい、それもかの底に様だはつてぬ かい、それもか高のかであった 首を動れた。それは、髪はが

て、部屋の外では

れるのは智前ちやないか、懐邃の

江路至

ではまった山西 常磐座で大山西 常磐座で大山西

これぞ眞の崇敬すべき名字、高場嗚咽の聲!感激の拍手

連鎖街の●

ラの場と作るは一手

社会画上せず三十録 日延べ致 でするなで B

天の 玉

6日 鹿 二十五錢

烏農家 は

世界的權威藥の出現

ドコへ行ラモ 患 毒中

者 0

肺疾患治療の

新方面

絹ミシン糸、DMO 鎖カタン、②絹糸

糸、鳳凰絹小町、

費カケ針

△詳細內容は岬一報次第岬川答印

ンイカコ.ンイロへ.ヒモ.片阿 腎局長酒井由夫職學士の多年研

振東化學研究所大連出張所大連出張所

治療專門 大連市大黑町三三 大連市大黒町三三 (トツセルコ胸治)器定壓部胸 號四〇四八八許特賣専 動節木タ 駆定木タ

小鉢的

二十錢

おでん

瘾者治

液速町一の相倒」

本天商埠地C天西國新丁附屬地境外) 源院 三日大公開 時太

無後 令八十雨 液共子京并優・清 田澤 缝數 演共雄春中田·代春川市 パラマウント特作教祭(日本版) 間 諜 X 2 7

10,000

学の映場にろことる室の内場日 上勇一弾内烈忠リ は随近、発性、関連を表むした個小神県リ は他のことは短いな異なるととを個の時間を封

作 被女は肥胖さらての任務な事のた。だか女は女 要ロボットではない。 両奴さ罵られ。裏切者さ女 愛められても。 横赤な黒に生き疲いのだ! 封 スタンペークは通り一遍のロマンス作者では切 ないのだ 日の テハート

滿鐵保養院長 遠蔣繁清先生考案 歴定板は全部付縮自在 大型左胸右胸 一個定債二十個也 中型左胸右胸 一個定價十八個也 職業元 警後藤風雲堂大連出張所 大連市山縣通 二五季地(電話五二二五番) 本店 東京 支店 大阪 出張所 京城 札幌

痔性內 tn X 光外 設科科

體第丙 望次



三二年型 何で健康色に モダンな白さ美しさ

年4月2月日前 S.K. 202

計會式休菓製治明

かはいいはいる格に温をい

株式一齊に反撥

三、滿洲特産物の輸

平年度特產物

齊克線出廻

作柄不良ご出廻遅延昨年より四千車減か

大豆屬田路力里等

滿洲農産物需給と

取付騒ぎの

愛知縣の經濟

基礎漸く鞏固を加

大連汽船

東京の日本に

平 神戸日米

社長 安田

人阪工業會の 滿蒙視察團 來月早々來滿の豫定

市

况全

産

株(弱保合)

三十二四十四 六十圓三十錢

五月限 200 200

地特產發送高

弘弘 | | | | 限

△·犬 (岩岩

上的

吟聞演

K

1011量常经

十五日ごろか

大連會屯金融組合二月中の紫織は

大連會屯金融組

三十一日附議

10年(東位国) 10年 (東位国) 10年 小洋島定 在 先、空 10年 一 人 へ、た へ 10日 人 へ、た へ 10日 人 へ、た へ 10日 大 ペース へ 10日

17101日

局長は七山朝齢速と底に出社、原機能は、中であった肺波清線技術

資源調查

常市保

八〇、大洋百一 一部五十仙(二 一部五十仙(二 一部五十仙(二 一部五十仙(二 一部五十仙(二

1.484.4

16.138.1

2,003.9

1.0123

6.4

20.0

262.6 4361.0

7.804.2

1.732.4

13.301.6

1.033.8

276.1

2.412.1

9.141.4

1.002.4 850.9

2.400.1

3 P.COP.O 1.798.1

51,530.9 7.400.0

4.179.2 1.215.8

29.8

902.8 20009

2523

1.427.3

43745

8.81G.1

1.123.1

106.878.3

701.2

194,9

1.473.4

1.253.3

346,779.4 286,365.9 8,500,0

麻袋氣乘為

糸も閑散 各纸 間間

【京城六日教】

でうで流滅社員 特婦の株屋

一五二二〇八〇〇枚 七六〇枚 七六〇枚 七六〇枚 枚 七六〇0枚 枚 七六〇0枚

穀粕樂豆

ニルナ

|| 日清汽船域出帆 開京運動 市林、哈爾復共の一大連支店で、哈爾提供の一大連支店で、「一大連支店」

大阪商船(株式大連支店) 大阪商船(株式大連支店) 大阪商船(株式大連支店) 大阪商船(株式大連支店) 大阪商船(株式大連支店)



贫出

勉强



月月月月 世四世

本学学学院の (大学学学院の (大学学院の (大学学院の (大学学院の (大学学院の (大学学院の (大学院院の (大学院)の (大学院院の (大学院院の (大学院)の (大学院院の (大学院)の (大学院の (大学院)の (大学

章 元 表現 今か

回朝鲜细船

銀(金組玉) 相

大阪棉花

